

令和 5 年版

消 防 年 報



大東四條畷消防本部

令和 6 年刊行

はじめに

本年報は、令和5年中における大東四條畷消防組合行政の現況を紹介するとともに、将来の参考に資するため編集したものです。

なお、この統計資料は原則として記載のないものは歴年とし、予算関係事項については会計年度としました。

令和6年10月

大東四條畷消防本部



火 の 用 心
“syo(ショー)坊や”

本組合の火災予防のマスコットです。

どうかよろしく。

大東四條畷消防職員憲章

大東四條畷消防職員は、市民の「安らぎ」と「幸せ」の生活基盤をなす、防火・防災の真の担手となり、自覚と信念をもってこの「五信条」を制定し、市民の信託に応えることを誓う。

我々大東四條畷消防職員は

- 1 つねに真心ある奉仕的精神を発揮し、もって社会向上につくすこと。
- 1 つねに規律ある和の精神を発揮し、もって組織向上につくすこと。
- 1 つねに健全なる活動精神を発揮し、もって志気向上につくすこと。
- 1 つねに不断なる向学精神を発揮し、もって知識向上につくすこと。
- 1 つねに普遍なる公德精神を発揮し、もって人間向上につくすこと。



目 次

1 構成市の概況	
(1) 大東市の概要	1
(2) 四條畷市の概要	2
2 消防組合の概況	
(1) 管内の概要	3
(2) 消防庁舎の概要	4
(3) 大東四條畷消防組合設立に向けた沿革	6
(4) 沿革	9
(5) 大東市消防本部 消防組合設立までのあゆみ	12
(6) 四條畷市消防本部 消防組合設立までのあゆみ	20
3 総務	
(1) 組織図	26
(2) 事務分掌	27
(3) 予算	30
(4) 決算状況	31
(5) 階級別年齢構成	32
(6) 階級別勤続年数	33
(7) 職員配置状況	34
(8) 職員資格取得状況	36
(9) 職員研修派遣状況	37
(10) 消防相互応援協定	38
4 消防署	
(1) 消防車両等の配置	39
(2) 通信施設	40
(3) 訓練指導等の実施状況	42
(4) 水利の使用状況	42
(5) 通常業務	42
(6) 通信指令室	43
(7) 消防水利の概況	45
(8) 消防資機材等保有状況	46
(9) 出動状況	48
(10) 火災の概況	49
(11) 曜日別火災発生状況	49
(12) 出火時刻別火災状況	50
(13) 風速・湿度別火災発生状況	51
(14) 原因別火災状況	52
(15) 救急概要	53
(16) 事故種別救急出場件数	54
(17) 月別救急出場件数	54
(18) 曜日別救急出場件数	55
(19) 救急隊の行った応急処置件数	56
(20) 現場到着所要時間別出場件数	57

(21) 収容所要時間別搬送人員	57
(22) 応急手当普及啓発活動状況	58
(23) 救助活動状況	59
5 予防	
防火対象物の現況	
(1) 防火対象物	60
(2) 消防同意	61
(3) 消防用設備等	62
危険物規制事務の概要	
(1) 危険物施設及び事業所数	63
(2) 危険物施設の推移	63
(3) 危険物施設関係事務処理状況	64
保安3法規制事務の概要	
(1) 火薬類取締法関係事務処理状況	65
(2) 高圧ガス保安法関係事業所数	65
(3) 高圧ガス保安法関係事務処理状況	66
(4) 液化石油ガス法関係事業所数	67
(5) 液化石油ガス法関係事務処理状況	67
6 消防団	
大東市消防団	
(1) あゆみ	68
(2) 消防団の組織	73
(3) 消防団員の定数と配置	74
(4) 消防団員の年齢別及び階級	75
(5) 在職年数別消防団員数	76
(6) 消防団車両の配置	77
四條畷市消防団	
(1) あゆみ	78
(2) 消防団の組織	82
(3) 消防団員の定数と配置	83
(4) 消防団員の年齢別及び階級	84
(5) 在職年数別消防団員数	85
(6) 消防団車両の配置	86
7 防火推進団体	
(1) 大東市消防協力会	87
(2) 大東市防火防災協会	88
(3) 大東市女性防火クラブ・幼年消防クラブ	89
(4) 四條畷市防火協会	91
(5) 四條畷市女性防火クラブ・幼年消防クラブ	92

1 構成市の概況

構成市の概況

(1)大東市の概要



東西7.5キロメートル、南北4.1キロメートルで、総面積は18.27平方キロメートル。
大阪府の東部、河内地方のほぼ中央に位置する人口およそ12万人の大東市。
東は豊かな自然が息づく「金剛生駒紀泉国定公園」を境に奈良県に、西は大阪市に接しています。
また、北は門真市、寝屋川市、四條畷市に南は東大阪市に、それぞれ接しています。
大阪市内及び京都府南部方面へは、JR学研都市線で結ばれ、道路も市の中央を南北に外環状線(国道170号)、東西を府道大阪生駒線が走り、交通の便にもたいへん恵まれたところです。

市章



大東市は住道町、四条町、南郷村の2町1村が合併して、昭和31年4月に誕生しました。
大阪市の東部に隣接する衛星都市として飛躍的發展が期待されるという明るい展望のもと、市制のスタートを切りました。
過去の栄光と将来への明確な展望を「光は東方より」のことわざに託して「大東市」と命名されました。市章は、「大とう」の文字をデザイン化したもので、公募によって定められました。



市の木 さんごじゅ

スイカズラ科の常緑高木で、3～10メートルの高さになります。
秋には赤い実をつけるたいへん美しい木で、実が赤く熟し、珊瑚のように見えることからさんごじゅと名付けられています。
この木は水分を多く含んでいるため、生け垣などに防火樹としてよく植えられ、名実ともにまちを美しく飾り、また守る木として愛されています。



市の花 菊

菊は「古今和歌集」や「源氏物語」などに登場し、以後春の梅、桜と並んで秋の花の代表として広く親しまれています。
中国から薬草として日本に渡来したのが、後に観賞用となったもので、市内各地域でも気品と芳香を誇る菊作りが行われています。

(2) 四條畷市の概要



四條畷市は、大阪府の東北部に位置し、大阪都心まで15kmほどの大都市近郊部にあります。

市域は、東西7.3 km、南北5.4 km、面積は18.69 km² で、その約3分の2は北生駒山地となっており、寝屋川市、大東市、交野市、奈良県生駒市に接しています。

平坦地である西部市街地は、中央部を国道163号が東西に、西端部を大阪外環状線(国道170号)が南北に走っています。さらに、中央部をJR学研都市線(片町線)が南北に走り、その沿線を中心に市街地が広がっており、ところどころに農地や社寺、史跡の緑を残しています。また、市街地の東側には、大阪平野を眺める飯盛山など北生駒の山々が連なり、そのほとんどが金剛生駒紀泉国定公園に指定され、緑豊かな姿をみせています。特に、北生駒山地の中核的エリアである緑の文化園周辺地域は、自然を活かした文化、研修、スポーツ・レクリエーションの場として、多くの人々に利用されており、広域的なシンボルゾーンとしての役割を担っています。

東部の田原地域には、自然環境に恵まれた田園風景の残る既存集落があり、また、水・緑・石を活かしたパークヒルズ田原の新市街地の整備が進み、緑豊かな魅力ある副核的地域として形成されつつあります。

市 章



四條畷の「し」と畷の「ナ」の2文字を平和の象徴である鳩に図案化し、未来に向かって雄飛する四條畷市の姿を表したものです。



市の木 くすのき

楠は、わが国に産する樹木中最大のもの。常緑広葉で広円な樹冠を形成します。市内には、楠 正行墓地にうっそうと生い茂る楠の巨木があり、広く市民に親しまれています。



市の花 さつき

さつきは、ツツジ科の常緑低木。観賞用として品種が多く、栽培増殖が簡単。花に風格があり、また、赤・白・しぼり桃など色彩感あふれており、多くの市民に愛好されています。

2 消防組合の概況

(1)管内の概要

平成25年11月1日、大東市消防本部と四條畷市消防本部を統合した「大東四條畷消防組合」を設立し、平成26年4月1日から両市を管轄区域とする「大東四條畷消防本部」として業務を開始しました。

当消防組合管内は大阪府の東部、河内地方のほぼ中央に位置し、管轄面積は約37km²、管轄人口は約18万人で、大東市と四條畷市の2市で構成されています。

東は豊かな自然が息づく「金剛生駒紀泉国定公園」を境に奈良県に、西は大阪市に、また、北は門真市、寝屋川市に、南は東大阪市に、それぞれ接しています。

大阪市内及び京都府南部方面へは、JR学研都市線で結ばれ、道路も市の中央を南北に外環状線(国道170号)が走り、交通の便にもたいへん恵まれたところです。

令和5年12月末現在

	人口(人)	世帯数	面積(km ²)
大東市	116,376	57,972	18.27
四條畷市	54,355	24,946	18.69
合計	170,731	82,918	36.96

管内図



(2) 消防庁舎の概要

消防本部・大東消防署

大東市新町13番35号
TEL 072-875-0119
FAX 072-870-0119

構造	鉄筋コンクリート 地上4階地下1階
規模	3,045.63㎡
竣工年月	平成4年3月



四條畷消防署

四條畷市西中野一丁目1番26号
TEL 072-877-0119
FAX 072-878-3552

構造	鉄筋コンクリート 地上3階地下1階
規模	1,784.15㎡
竣工年月	昭和49年10月



大東消防署 西分署

大東市南郷町1番28号
TEL 072-875-1119
FAX 072-875-1119

構造	鉄骨造 地上2階
規模	687.91㎡
竣工年月	平成4年3月



大東消防署 東分署

大東市野崎三丁目1番20号
TEL 072-862-0119
FAX 072-862-0119

構造	鉄筋コンクリート 地上2階
規模	714.72㎡
増築年月	平成21年3月



四條畷消防署 田原分署

四條畷市田原台七丁目1番11号
TEL 0743-79-2900
FAX 0743-79-2833

構造	鉄筋コンクリート 地上2階
規模	476.69㎡
竣工年月	平成6年3月



(3)大東四條畷消防組合設立に向けた沿革

平成 18 年 6 月 14 日	消防組織法の一部改正（市町村の消防の広域化）
平成 18 年 7 月 12 日	市町村の消防の広域化に関する基本指針（消防庁告示）
平成 19 年 4 月 2 日	大阪府消防広域化推進委員会の設置
平成 20 年 3 月	大阪府消防広域化推進計画の策定（平成 23 年 6 月改定）
平成 21 年 6 月 22 日	消防の広域化を踏まえた消防のあり方検討会 開催
平成 24 年 8 月 17 日	大東市・四條畷市消防広域化検討委員会 設立
平成 24 年 8 月 29 日	第 1 回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会 ○検討委員会における検討事項、作業部会の設立
平成 24 年 9 月 11 日	消防広域化先進事例の視察（泉南市消防本部）
平成 24 年 9 月 12 日	消防広域化先進事例の視察 （滋賀県：湖南広域消防局、湖北地域消防本部）
平成 24 年 9 月 14 日	第 1 回 消防広域化検討委員会 作業部会 ○両市消防の現状課題および広域化の効果について
平成 24 年 9 月 24 日	第 2 回 消防広域化検討委員会 作業部会 ○検討結果報告書（案）、経費負担割合について
平成 24 年 9 月 28 日	第 3 回 消防広域化検討委員会 作業部会 ○検討結果報告書（案）、広域化における初期費用等について
平成 24 年 10 月 19 日	第 4 回 消防広域化検討委員会 作業部会 ○検討結果報告書（案）について
平成 24 年 10 月 26 日	第 2 回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会 ○検討結果報告書（案）の検討協議、一部承認
平成 24 年 10 月 31 日	第 3 回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会（書面会議） ○検討結果報告書（案）承認
平成 24 年 11 月 8 日	大東市長、四條畷市長職務代理者四條畷市副市長 会談 ○検討結果報告書の報告
平成 24 年 11 月 16 日	消防広域化先進事例の視察（泉佐野市消防本部）

- 平成 24 年 11 月 27 日 第 4 回 大東市・四條畷市消防広域化検討委員会
○協議会規約（案）、専門部会規程（案）、事務局規程（案）の検討
- 平成 24 年 12 月 3 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 設立
○協議会規約、専門部会規程、事務局規程の承認
- 平成 25 年 2 月 15 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 1 回専門部会
○広域化に係る調整事項（28 項目）の検討・協議
- 平成 25 年 2 月 21 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 2 回専門部会（書面会議）
○広域化に係る調整事項（28 項目）の確認
- 平成 25 年 2 月 27 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会（第 1 回）
○広域化に係る調整事項（28 項目）の協議・確認
- 平成 25 年 3 月 19 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 3 回専門部会
○広域消防運営計画（案）の検討・協議
- 平成 25 年 4 月 9 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 4 回専門部会
○広域消防運営計画（案）の再検討・協議
○組合規約（案）の検討・協議
○組合設立許可申請事前協議項目の検討・協議
○協議会運営規程（案）、協議会傍聴規程（案）の検討・協議
- 平成 25 年 4 月 19 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 5 回専門部会
○組合規約（案）の再検討・協議
○組合設立許可申請事前協議項目の再検討・協議
- 平成 25 年 4 月 26 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会（第 2 回）
○大東四條畷消防組合規約（案）の協議・確認
○大東市・四條畷市広域消防運営計画（案）の協議・確認
○大東四條畷消防組合設立事前協議項目の協議・確認
- 平成 25 年 5 月 13 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会（第 3 回書面会議）
○大東四條畷消防組合規約（案）の修正確認
- 平成 25 年 5 月 31 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 6 回専門部会
○職員の給料・諸手当・福利厚生に関する事項の検討・協議
○財産の取り扱いに関する事項の検討・協議
○事業計画（案）【消防車両、消防救急無線、通信指令施設】の検討・協議
○財政計画（案）の検討・協議
- 平成 25 年 6 月 12 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 7 回専門部会（書面会議）
○財政計画（案）の修正確認
- 平成 25 年 6 月 17 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会（第 4 回）

- 財産の取り扱いに関する事項の協議・確認
- 事業計画（案）【消防車両、消防救急無線、通信指令施設】の協議・確認
- 財政計画（案）の協議・確認

平成 25 年 6 月 26 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会（第 5 回書面会議）
○大東市・四條畷市広域消防運営計画（案）の修正確認

平成 25 年 7 月 4 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会（第 6 回書面会議）
○大東四條畷消防組合設立事前協議項目の確認

平成 25 年 7 月 12 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会 第 8 回専門部会
○消防本部の位置、名称、組織に関する事項の検討・協議
○人事給与システム、財務会計システム、ホームページ等に関する事項の
検討・協議
○採用計画に関する事項の検討・協議
○広域化に係る準備経費に関する検討・協議
○平成 25 年度組合消防暫定予算に関する検討・協議
○大阪府への設置許可申請事前協議に係る追加事項についての検討・協議

平成 25 年 7 月 30 日 大東市・四條畷市消防広域化協議会（第 7 回）
○消防本部の位置、名称、組織に関する事項の協議・確認
○人事給与システム、財務会計システム、ホームページ等に関する事項の
協議・確認
○採用計画に関する事項の協議・確認
○大阪府への設置許可申請事前協議に係る追加事項についての協議・確認
○広域化に係る準備経費に関する報告

平成 25 年 8 月 26 日 大東市長・四條畷市長 協議書に署名捺印

平成 25 年 10 月 3 日 大阪府へ一部事務組合の設立の許可申請

平成 25 年 11 月 1 日 一部事務組合（大東四條畷消防組合）設立許可
設置許可指令書交付式 出席者
大東市長、四條畷市長、大東市政策推進部長、四條畷市理事兼行政経営室長、
両市消防長、大東市議会議長、四條畷市議会副議長
大阪府知事、危機管理監、総務部長

平成 26 年 2 月 6 日 平成 26 年大東四條畷消防組合議会 第 1 回臨時会

平成 26 年 4 月 1 日 大東四條畷消防本部 業務開始（発足式）

(4) 沿 革

年 月 日			概	要
平成26年	4 月	1 日	大東四條畷消防本部 業務開始(発足式)	
	4 月	1 日	初代 消防長 林 顯	
	4 月	1 日	高機能消防指令センター運用開始(Ⅱ型)	
	10 月	22 日	大東消防署に消防ポンプ自動車(CD－I型)を更新配備	
	10 月	27 日	消防本部に連絡車を更新配備	
	11 月	26 日	四條畷消防署に高規格救急自動車を更新配備	
平成27年	2 月	6 日	大東消防署西分署に高規格救急自動車を更新配備	
	4 月	1 日	第2代 消防長 石田 進	
	4 月	1 日	消防救急デジタル無線運用開始	
	7 月	14 日	枚方信用金庫からスクーター及びAEDトレーナー等の寄贈を受け、消防本部に配置	
	8 月	24 日	大東消防署東分署に消防ポンプ自動車を更新し、高所作業車を新規配備	
	10 月	2 日	大東市火災予防協会設立50周年記念式典(キラリエホール)	
平成28年	11 月	17 日	四條畷消防署に調査車を更新し、災害活動車を新規配備	
	11 月	30 日	四條畷消防署田原分署に消防ポンプ自動車(水I－B型)を更新配備	
	1 月	27 日	四條畷消防署田原分署に高規格救急自動車を更新配備	
	3 月	28 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から電子看板の寄贈を受け、消防本部に配置	
	4 月	1 日	第3代 消防長 奥村 義実	
	9 月	1 日	コミュニティ助成事業により、大東市女性防火クラブ連絡協議会対象の心肺蘇生訓練用資器材を配置	
平成29年	1 月	31 日	大東消防署に35m先端屈折・水路付梯子消防自動車を導入	
	4 月	1 日	大東市幼年消防クラブ(幼稚園、こども園、保育所(園)9園)が結成	
	4 月	19 日	大東市火災予防協会が「大東市防火防災協会」に改名	
	7 月	4 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から遠心式ミストファン4台の寄贈を受け、消防署に配置	
	7 月	14 日	四條畷市防火協会設立40周年記念式典(市民総合センター) 消火栓標識子供向け防火啓発DVD、ミスト式扇風機の寄贈を受け、消防署に配置	
	9 月	28 日	大東消防署に防火広報車を更新し、災害支援車を新規配備	
	11 月	29 日	大東消防署及び四條畷消防署の空気圧縮機を更新し、大東消防署に移動式空気圧縮機を配置	
	11 月	30 日	大東消防署に高規格救急自動車を更新配備	
平成30年	1 月	30 日	四條畷消防署に消防ポンプ自動車(CD－I型)を更新配備	
	4 月	1 日	第4代 消防長 牧野 功	
	9 月	19 日	コミュニティ助成事業により、忍が丘幼稚園幼年消防クラブに法被及び鼓笛	

			隊用の太鼓を配置
	9 月	26 日	消防本部に危険物号を更新配備
	12 月	2 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会からカセットガス発電機、バックパネルの寄贈を受け消防本部に配置
令和元年	7 月	11 日	コミュニティ助成事業により、大東市女性防火クラブ連絡協議会にプロジェクター、スクリーン及びアンプ等の視聴覚資機材を配置
	7 月	16 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から救急訓練資器材あっぱくんライト、AEDトレーナー及びハンズフリー拡声器の寄贈を受け消防本部に配置
	11 月	26 日	四條畷消防署に高規格救急自動車を更新配備
令和2年	4 月	30 日	株式会社ルックからアルコール(ジェルタイプ)消毒液及びボトルの寄贈を受け消防署に配置
	6 月	5 日	枚方信用金庫から救命ボート、船外機、防災ウェーダー及びフロートキャッチャーの寄贈を受け消防署に配置
	8 月	5 日	四條畷市防火協会からタブレット端末(iPad)の寄贈を受け消防署に配置
	9 月	16 日	消防本部に広報車を更新配備
	11 月	16 日	大東市防火防災協会から広報車「水来」及び子供用防火服の寄贈を受け消防本部に配置
	11 月	17 日	コミュニティ助成事業により、四條畷市女性防火クラブ連絡協議会対象の心肺蘇生訓練用資器材を配置
令和3年	2 月	1 日	大東消防署西分署に高規格救急自動車を更新配備
	3 月	31 日	大東四條畷消防市民音楽隊解散
	6 月	8 日	野崎工業株式会社から光触媒空気清浄機3台寄贈を受け救急車に配置
	7 月	28 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会からiPad2台、プロジェクター、幼児向け防火防災学習DVD及びスタンドライト投光器の寄贈を受け消防署に配置
	8 月	4 日	コミュニティ助成事業により、畷幼稚園幼年消防クラブに法被及び鼓笛隊用の太鼓を配置
令和4年	2 月	28 日	四條畷消防署に救助工作車を更新配備
	3 月	2 日	大東消防署に指揮車を更新配備
	3 月	30 日	四條畷市防火協会から幼年消防クラブ員の認定式で使用する啓発看板の寄贈を受け消防署に配置
	4 月	1 日	第5代 消防長 瀧田 昭彦
	6 月	15 日	コミュニティ助成事業により、大東中央幼稚園幼年消防クラブに鼓笛隊用太鼓マレット及びフラッグ等を配置
	7 月	12 日	大東消防署に査察号を更新配備
	9 月	27 日	救急振興財団から心肺蘇生訓練用資器材の寄贈を受け消防本部に配置
令和5年	1 月	6 日	四條畷消防署田原分署に高規格救急自動車を更新配備
	3 月	30 日	大東消防署西分署に消防ポンプ自動車(CD-I型)を更新配備

7 月	20 日	コミュニティ助成事業により、忍ヶ丘いるかこども園幼年消防クラブにマーチングキーボード及びユニホーム等を配置
8 月	1 日	千成ヤクルト販売株式会社と火災予防及び健康増進に関する相互連携協定締結
8 月	22 日	消防本部に本部公用車を更新配備
8 月	31 日	大阪府LPガス協会北東支部大東部会から住宅用火災警報器の設置を促進する横断幕の寄贈を受け、消防本部に配置

(5) 大東市消防本部 消防組合設立までのあゆみ

年	月	日	概	要
昭和39年	2月	14日	政令で消防本部及び消防署を置かなければならない都市に指定	
	7	17	職員定数25名	
40	3	30	消防本部(署)発足(ポンプ車、予備車、救急車各1台、職員14名配置)	
			初代消防長 木本晴進	
	7	1	大阪府北ブロック消防相互応援協定締結	
	10	10	大東市火災予防協会発足(147事業所) 初代会長 池田 治郎吉	
	11	11	タンク車配置	
	12	1	大阪市、大東市消防相互応援協定締結	
41	3	7	大阪府知事表彰旗受賞	
	6	27	職員定数38名	
	11	20	ポンプ車配置(日本損害保険協会寄贈)	
			第2代 協会長 杉岡 金蔵	
42	6	1	東大阪市、大東市消防相互応援協定締結	
	6	30	消防音楽隊結成(8名)	
			広報車配置(大東市火災予防協会寄贈)	
	12	14	スノーケル車配置(15m級)	
	12	22	職員定数55名	
43	3	7	消防庁長官竿頭綬受賞	
	11	1	第2代 消防長 大西 健治郎(助役事務取扱)	
	11	27	大東市婦人防火クラブ末広支部結成(92名)	
44	8	12	救急車配置	
	9	1	林野火災消防相互応援協定締結(大東市、四條畷市、交野市、生駒市)	
45	3	7	消防庁長官表彰旗受賞	
	3	25	職員定数70名	
	7	16	機構改革(課制実施 2課1署)	
			第3代 消防長 見浪 保治郎	
	8	6	消防庁舎移転(赤井1丁目1番5号)	
46	3	29	化学車配置	
	6	4	救急車配置(大東市火災予防協会寄贈)	
47	3	22	ポンプ車配置	
	4	1	職員定数80名	
			東分署開設(ポンプ車1台、救急車1台、職員16名配置)	
			第3代 協会長 松村 憲三	

年	月	日	概	要
昭和47年	12月	6日	予防広報車配置(大東市火災予防協会寄贈)	
48.	3.	20	職員定数85名	
	4.	1	3部制施行	
	5.	8	救急車配置	
	5.	18	救急車更新(大阪府モーターボート競走会寄贈)	
49.	4.	1	職員定数90名	
	12.	1	第4代 消防長 木本 晴進	
50.	2.	27	スノーケル車第1回目オーバーホール	
	3.	1	大東市消防職員憲章制定	
	9.	1	ポンプ車更新	
	12.	22	司令車配置(大東ライオンズクラブ寄贈)	
51.	3.	24	タンク車更新(日本損害保険協会寄贈)	
	4.	1	第4代 協会長 内田 照夫	
	7.	1	大東市火災共済制度発足	
	7.	1	大東市火災予防協会 消防庁長官表彰受賞	
	9.	10	救急車更新	
	9.	30	38m級はしご車配置	
53.	3.	28	職員定数93名	
	5.	10	予防広報車配置(大東市火災予防協会寄贈)	
	8.	9	救急車更新 東分署	
	11.	12	大東市婦人防火クラブ南郷支部結成(153名)	
	12.	12	大東市婦人防火クラブ灰塚支部結成(350名)	
54.	6.	12	公用車配置(大東市火災予防協会寄贈)	
	11.	11	自治体消防制度発足30周年記念式典、職員家族慰労会 (大東市立市民体育館)	
	12.	19	職員定数94名	
55.	4.	1	大東市婦人防火クラブ山の手支部結成(458名)	
			大東市婦人防火クラブ連絡協議会結成	
	7.	1	第5代 消防長 米田 忠夫	
			機構改革、予防課新設(3課、1署、1分署)	
			大東市少年消防クラブ結成(65名)	
	8.	1	大東市少年婦人防火委員会設置	
	10.	25	大東市火災予防協会15周年記念式典並びに音楽隊発足10周年 記念演奏会(住道中学校)	

年	月	日	概	要
昭和55年	11月	22日	防火広報車配置(日本防火協会寄贈)	
	12	17	救助工作車配置	
	12	23	調査車配置	
56	4	28	2B型救急車更新(大阪府モーターボート競走会寄贈)	
	8	31	消防署CD-I型ポンプ車更新	
57	7	18	第1回少年婦人消防まつり(府立消防学校)	
	7	27	スノーケル車 第2回目オーバーホール	
	7	30	米田消防長退職、高比良助役事務取扱	
	8	3	第6代 消防長 萩家 周作	
	9	26	大東市婦人防火クラブ連絡協議会大野支部結成(450名)	
	10	16	資機材搬送車更新	
	11	17	火災共済号配置	
58	3	6	大東市婦人防火クラブ連絡協議会南灰塚支部結成(192名)	
	3	30	2B型救急車更新	
	6	5	第7代 消防長 戸谷 宗孝	
	10	15	大東市消防協力会設立 初代会長 川西 喜重郎	
	10	20	I-A型水槽付消防ポンプ車更新	
	10	23	自治体消防制度発足35周年記念式典(住道中学校体育館)	
59	6	24	大東市婦人防火クラブ連絡協議会深四支部結成(450名)	
	8	25	大阪府幼年、少年、婦人等防火委員会設立大会(高島屋ホール)	
			大東市婦人防火クラブ連絡協議会長 櫛田 秀子 委員に選出	
	10	1	職員定数100名	
	11	30	予防広報車配置	
	12	9	大東市婦人防火クラブ連絡協議会龍間支部結成(180名)	
	12	25	38m級はしご車第1回目オーバーホール	
60	4	1	大阪府婦人防火クラブ連絡協議会設立	
			初代会長 大東市婦人防火クラブ連絡協議会会長 櫛田秀子	
			第5代 協会長 吉井章逸	
	9	1	第1回 大東市地域総合防災訓練(深野遊水池)	
	10	15	大東市火災予防協会設立20周年記念式典(大東市立市民会館)	
	11	5	CD-I型ポンプ車更新 東分署	
61	2	12	消防本部(署)消防用無線固定局、東分署基地局、	
			固定局開局(新市波増波)	
	4	1	第8代 消防長 長富 正敏	

年 月 日	概 要
昭和61年10月28日	第2回 全国婦人消防操法大会(横浜市)
	大阪府代表として、末広、大野選抜チーム出場
11 . 11	2B型救急車更新
62 . 4 . 30	予防広報車更新
8 . 18	化学車更新(日本損害保険協会寄贈)
62 . 11 . 28	大阪府東部林野火災特別地域の指定
63 . 4 . 1	第6代 協会長 安田 進一
8 . 22	火災共済号更新
9 . 1	大阪府下広域消防総合応援協定締結
10 . 9	自治体消防制度発足40周年、大東市消防音楽隊発足20周年記念式典 (大東市立総合文化センター)
11 . 30	15m級はしご車更新
平成元年 3 . 10	司令車更新(大東中央ライオンズクラブ 寄贈)
7 . 5	第9代 消防長 中野 光夫
9 . 29	職員定数110名
11 . 3	元消防長 見浪 保治郎 氏 勲五等瑞宝章受章
12 . 27	公用車更新(大東市火災予防協会寄贈)
2 . 6 . 4	予防広報車(1号)更新
7 . 9	防火広報車更新(枚方信用金庫寄贈)
9 . 17	大東市消防本部庁舎地鎮祭(大東市新町)
10 . 26	大東市火災予防協会設立25周年、大東市婦人防火クラブ連絡協議会 少年消防クラブ設立10周年記念式典(大東市立総合文化センター)
3 . 3 . 3	救急車(2号)更新(大阪府共済農業協同組合連合会寄贈)
9 . 12	第1回「救急医療研修会」救急の日(大東市立市民会館)
4 . 3 . 13	消防本部・署移転(新町13-35)
	西分署開設(南郷町1-28)(ポンプ車、化学車、救急車、職員25名配置)
4 . 9	職員定数120名
5 . 2 . 26	38m級はしご車第2回目オーバーホール
3 . 11	西分署 水槽付CD-I型ポンプ車更新
4 . 1	完全週休2日制実施
	救急救命士誕生
	第7代 協会長 北村 吉左衛門
5 . 25	西分署、東分署連絡車(軽四)配置
10 . 3	大東市消防協力会発足10周年記念式典(大東市立総合文化センター)

年 月 日	概 要
平成5年11月17～18	自治体消防制度発足45周年記念式典(東京ドーム)
11 . 28	自治体消防制度発足45周年記念式典(中央区マイドームおおさか)
6 . 3 . 18	2B型救急車更新(大阪府モーターボート競走会寄贈)
10 . 16	少年消防クラブ15周年記念式典(大東市立市民会館)
11 . 30	調査車更新
7 . 1 . 17	阪神・淡路大震災発生
1. 19～26	阪神・淡路大震災応援派遣(救急隊)神戸市灘消防署
1. 26～2. 3	阪神・淡路大震災応援派遣(消防隊)神戸市兵庫消防署
2. 5～6	阪神・淡路大震災応援派遣(消防団)兵庫県消防学校(神戸市北区)
3 . 1	東分署CDー I 型ポンプ車更新
4 . 1	第10代 消防長 安川 博美 第2代 消防協力会会長 川口 光治
5 . 21	大東市婦人防火クラブ連絡協議会15周年記念式典(大東市立市民会館)
6 . 18	大東市婦人防火クラブ連絡協議会北灰塚支部結成(580名)
11 . 3	第1回 消防フェア(大東市立総合文化センター周辺)
11 . 8	大東市火災予防協会設立30周年、大東市消防音楽隊発足25周年 記念式典(大阪ヒルトンホテル)
	救助工作車更新
8 . 1 . 17	震災出動訓練
3 . 4	消防ポンプ車更新
3 . 18	西分署高規格救急車運用開始(大阪府モーターボート競走会寄贈)
7 . 25	防火広報車更新(日本防火協会寄贈)
9. 7～9. 10	第52回 プレ国民体育大会(バドミントン)
9 . 2 . 13	はしご車更新
7 . 26	第12回 大阪の消防大賞(大阪国際交流センター)
10. 25～30	第52回 国民体育大会(バドミントン、ライフル射撃)
10 . 3 . 7	自治体消防制度発足50周年記念式典(日本武道館)
4 . 1	第11代 消防長 南野 征治
9 . 29	タンク車更新(日本損害保険協会寄贈)
10 . 25	第13回大東市地域総合防災訓練(氷野小学校)
10 . 30	タンク車更新
11 . 3	自治体消防制度発足50周年記念式典(消防本部)
11 . 11 . 15	東分署高規格救急車運用開始
12 . 5 . 20	大東市婦人防火クラブ連絡協議会20周年記念式典

年	月	日	概	要
			(大東市立総合文化センター)	
平成12年	6月	22日	広報車更新	
	7	28	指揮車更新	
	11	8	ミニ消防車「水来」配置(大東市火災予防協会寄贈)	
			大東市火災予防協会設立35周年、大東市消防音楽隊発足30周年 記念式典(ホテルニューオータニ)	
13	2	9	ポンプ車配置	
13	4	1	第8代 協会長 杉岡 五郎	
	10	14	大東市婦人防火クラブ連絡協議会朋来支部結成(1869名)	
14	12	9	災害対応型高規格救急自動車 西分署更新	
15	2	18	通信指令システムⅡ型 更新導入	
	4	1	第12代 消防長 岩田 彬	
			第9代 協会長 田中 利男	
			消防音楽隊(ウィングス)市民参加型に再編成	
			本署 兼任救急隊配置	
	11	3	元職員 塚田 安幸 氏 瑞宝単光章受章	
			元職員 見浪 紀義 氏 瑞宝単光章受章	
	11	8	大東市民防火の集い(自治体消防55周年記念行事)	
			大東市消防協力会20周年記念式典(大東市立総合文化センター)	
	11	20	自治体消防制度55周年記念全国大会(東京ドーム)	
	12	1	高規格救急自動車 本署更新	
16	4	1	大東市女性防火クラブ連絡協議会に名称変更	
	4	29	元職員 光野 薫充 氏 瑞宝単光章受章	
	11	3	元職員 角谷 逸郎 氏 瑞宝単光章受章	
			元職員 西村 勇 氏 瑞宝単光章受章	
17	4	1	第13代 消防長 古木 正純	
	4	29	元職員 東村 正幸 氏 瑞宝単光章受章	
	5	29	大東市女性防火クラブ連絡協議会設立25周年記念式典 (奈良市 奈良ロイヤルホテル)	
	10	14	大東市火災予防協会設立40周年、大東市消防音楽隊発足35周年 記念式典(ホテルニューオータニ)	
18	3	6	高規格救急自動車(4WD)東分署更新	
	4	1	大東市三箇女性防火クラブ結成	
			第3代 協力会会長 野口 貢	

年 月 日	概 要
平成18年 6月 1日	住宅用火災警報器義務設置(新築住宅)施行
7 . 5	大東市女性防火クラブ連絡協議会会長 櫛田 秀子 氏 安全功労者消防庁長官表彰受賞
11 . 16	調査車更新
19 . 1 . 26	消防職員昇任試験(消防司令)導入
4 . 1	第10代 協会長 川本 安夫
5 . 25	化学車更新
8 . 30	資機材搬送車更新
20 . 2 . 9	自治体消防制度60周年記念公演「ミュージカル『地震・カミナリ・火事・オヤジ』」(サーティホール)
6 . 22	大東市東諸福女性防火クラブ結成
11 . 3	元職員 西川 速男 氏 瑞宝双光章受章
11 . 17	高規格救急自動車(4WD)西分署更新
12 . 24	CD-I型ポンプ車西分署更新
21 . 1 . 13	30m級はしご車第1回目オーバーホール
3 . 19	東分署移転(野崎三丁目1番20号)
4 . 1	第14代 消防長 奥山 武 第4代 協力会会長 生駒 平三
4 . 29	元職員 中野 光夫 氏 瑞宝双光章受章
6 . 1	大東市栄和町女性防火クラブ結成
11 . 3	元職員 安川 博美 氏 瑞宝双光章受章
22 . 3 . 16	指揮車更新
4 . 29	元職員 南野 征治 氏 瑞宝双光章受章
11 . 3	元職員 岩田 彬 氏 瑞宝双光章受章
11 . 7	大東市新田女性防火クラブ結成
11 . 19	高規格救急自動車(4WD)本署更新
12 . 16	CD-I型ポンプ車東分署更新
23 . 3 . 11	東日本大震災発生
3.11~15	東日本大震災 緊急消防援助隊 大阪府隊第一陣派遣 (消防隊・救急隊)岩手県大槌町
3.13~20	東日本大震災 緊急消防援助隊 大阪府隊第二陣派遣 (消防隊)岩手県大槌町
4 . 1	第11代 協会長 東坂 巖 第15代 消防長 林 顯

年 月 日	概 要
平成23年 4月29日	元職員 勝野 雅志 氏 瑞宝双光章受章
8 . 25	救助工作車更新
11 . 3	元職員 樋上 勝次 氏 瑞宝双光章受章
24 . 1 . 12	ポンプ3号更新
4 . 29	元職員 西岡 克巳 氏 瑞宝双光章受章
11 . 3	元職員 岩熊 大樹 氏 瑞宝双光章受章
25 . 2 . 5	危険物号更新
2 . 6	高規格救急自動車(4WD)東分署更新
5 . 13	査察号更新
11 . 3	元職員 三ツ川 一吉 氏 瑞宝単光章受章
11 . 16	大東市消防協力会30周年記念式典(大東市立総合文化センター)
11 . 25	自治体消防制度65周年記念全国大会(東京ドーム)
26 . 3 . 31	大東市消防本部廃止

(6)四條畷市消防本部 消防組合設立までのあゆみ

昭和46年	四條畷市消防本部(署)発足 四條畷市消防庁舎増築 (社)日本船舶振興会から救急車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置
昭和47年	消防庁から四條畷市消防本部、署が優良消防機関として表彰旗を受章 防火水槽40m ³ 級を設置(南野二丁目地区) 指令車兼査察車を消防本部(署)に設置 消防専用超短波無線電話(基地局1、移動局5、携帯用2)を消防本部に設置開局
昭和48年	防火水槽40m ³ 級を設置(上田原地区) (社)大阪府モーターボート競走会から救急車(2B型)の寄贈を受け消防署に配置
昭和49年	新消防庁舎完成(鉄筋コンクリート造2階建)業務開始、併せて救急指令装置(B型)を消防本部に設置 四條畷市ライオンズクラブから照明付広報板の寄贈を受け、消防本部玄関前に設置 防火水槽40m ³ 級を設置(下田原地区) 携帯無線機1基を消防署に設置
昭和50年	第4回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、水上の部(人命救助)で準優勝 第4回全国消防救助技術大会に出場し、水上の部(人命救助)で入賞 (社)日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(BD- I 型)の寄贈を受け、消防署に配置
昭和50年	車載用無線機1基を消防署に配置
昭和51年	スキューバ式潜水器具を、消防署に配置 第5回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(障害突破)で入賞 消防ポンプ自動車(BD- I 型)、ホームライト軽可搬ポンプを消防署に配置 監視テレビ装置を設置 防火水槽40m ³ 級を設置(逢阪地区)
昭和52年	四條畷市防火協会設立発足 四條畷ライオンズクラブから指令車兼査察車の寄贈を受け、消防本部に配置 第6回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(高所人命救助)で入賞
昭和53年	第7回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(ほふく救出、高所人命救助)で入賞 救急車(2B型)を消防署に配置
昭和55年	水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-A型)を消防署に配置 第9回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(障害突破)で入賞 携帯無線機1基を消防署に配置
昭和56年	四條畷ライオンズクラブから携帯無線機1基の寄贈を受け、消防署に配置
昭和57年	高圧ガス製造設備を、消防署に配置 (社)大阪府モーターボート競走会から救急車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置 第11回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(障害突破、ほふく救出)

	で入賞
昭和57年	消防専用府県共通波基地局無線電話を消防本部に設置開局
昭和58年	四條畷、大東ライオンズクラブから指令車兼査察車の寄贈を受け、消防本部に配置 消防署に配置の携帯無線機2基に全国波を装備 防火水槽40m ³ 級を設置(中野本町地区)
昭和59年	大東中央、四條畷中央ライオンズクラブから心肺蘇生訓練用人形の寄贈を受け、消防署に配置 第13回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(障害突破)で入賞 中野婦人防火クラブが設立発足
昭和60年	第14回消防救助技術近畿地区指導会に参加し、陸上の部(ほふく救出)で入賞 防火水槽40m ³ 級を設置(南野一丁目地区)
昭和61年	消防ポンプ自動車(CD-I型)を消防署に配置
昭和62年	体力練成器具(バーベル・ダンベルセット、スタンド付プレス用ベンチ、カール台)を消防署に配置 水難救助用ゴムボート(6人乗り)を消防署に配置 スキューバ式潜水器具一式を消防署に配置 (社)大阪府モーターボート競走会から救急車(2B型)の寄贈を受け、消防署に配置 車載用無線機1基を消防署に配置 紫外線殺菌装置を消防署に配置
昭和63年	体力練成器具(バーベルシャフト、ダンベルD型シャフト、マット)を消防署に配置 気象用FAXを消防署に配置 携帯無線機(1W)3基更新し、消防署に配置
平成 元年	救助用万能搬送器具を、消防署に配置 空気呼吸器用軽量ボンベ、軽量滑車、4ポイントブライダル、ワイヤーはしごを消防署に配置 スキューバ式潜水器具一式を消防署に配置 エチレンオキサイドガス滅菌器を消防署に配置 四條畷、大東、四條畷中央ライオンズクラブから消防用自動車(トヨタカラーバン)の寄贈を受け、消防本部に配置
平成 2年	耐熱服2着を消防署に配置 エンジンカッター1基を消防署に配置 ハイパワースプレッター、ハイパワーカッター、フートポンプを消防署に配置 電池式自動吸引器を消防署に配置 枚方信用金庫から普通乗用車の寄贈を受け、消防本部に配置 スキューバ式潜水器具一式を消防署に配置 国道163号清滝トンネル開通に伴い、消防専用基地局を設置開局 119番受信体制の整備(NTT奈良県生駒営業所エリアからの直接受信可) 防火水槽40m ³ 級を設置(江瀬美町地区) ガス溶断機一式を消防署に配置

	四條畷市幼年消防クラブが設立発足(忍ヶ丘幼稚園、畷幼稚園、星子幼稚園の各幼年消防クラブ)
平成 3年	バッテリー充電機(ハイレートマックス70D)を消防署に配置 油圧式救助器具(エンジンポンプ、ホースリール)を消防署に配置 消防ポンプ付救助車(CD-Ⅱ型)を消防署に配置 車載用無線機(XW)1基をCD-Ⅱ型に設置 救急資機材(聴診器、血圧計、経鼻エアウェイ、マギール鉗子、喉頭鏡、ブレード、LSPアンティショックパンツ、サムスプリント、スティッフネック)を消防署に配置 シールドビーム投光器(500W)、三脚(K-1型)、コードリールを消防署に配置
平成 3年	災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(10枚)製作設置 天ぶら油火災実験装置を消防署に配置 救急隊に救急服を採用 (財)日本消防協会から中野婦人防火クラブが表彰旗を受章
平成 4年	消防緊急通信指令施設Ⅰ型導入し、消防署に配置 消防専用電話施設基地局を更新し、消防署に配置 大阪府共済農業協同組合連合会から救急車(2B型)の寄贈を受け、車載用無線機(10W)1基及び心電図伝送装置等を装備し、消防署に配置 田原分署新築にかかる工事实施設計を委託 救急救命士養成課程1名派遣
平成 5年	災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(7枚)製作設置 119番受信体制の整備(ブランチ方式から専用受信方式に変更) 田原分署庁舎新築工事着工 マット型空気ジャッキを、消防署に配置 四條畷市防火協会から乗用車(ワゴン7人乗り)の寄贈を受け、消防本部に配置 液晶ビデオ映写機一式を消防署に配置 消防本部庁舎自家発電設備改修(ディーゼルエンジン出力60KVA)整備 第9回全国婦人消防操法大会に大阪府を代表して、四條畷市中野婦人防火クラブが出場 救急救命士養成課程1名派遣
平成 6年	田原分署開署(4月1日) 水槽付消防ポンプ自動車(Ⅰ-B型)を田原分署に配置 (社)大阪府モーターボート競走会から救急車(2B型)の寄贈を受け、心電図伝送装置等を装備し、田原分署に配置 消防専用電話施設基地局(田原分署前進基地局)を田原分署に配置 単車(カブ50cc)1台を田原分署に配置 バッテリー充電機(ハイレートマックス70D)を田原分署に配置 体力練成器具(バーベル、ダンベル、ベンチ等)を田原分署に配置 トレーニング機器(サイクルエクセサイザー)1台を田原分署に配置 体力測定器具を消防署に配置

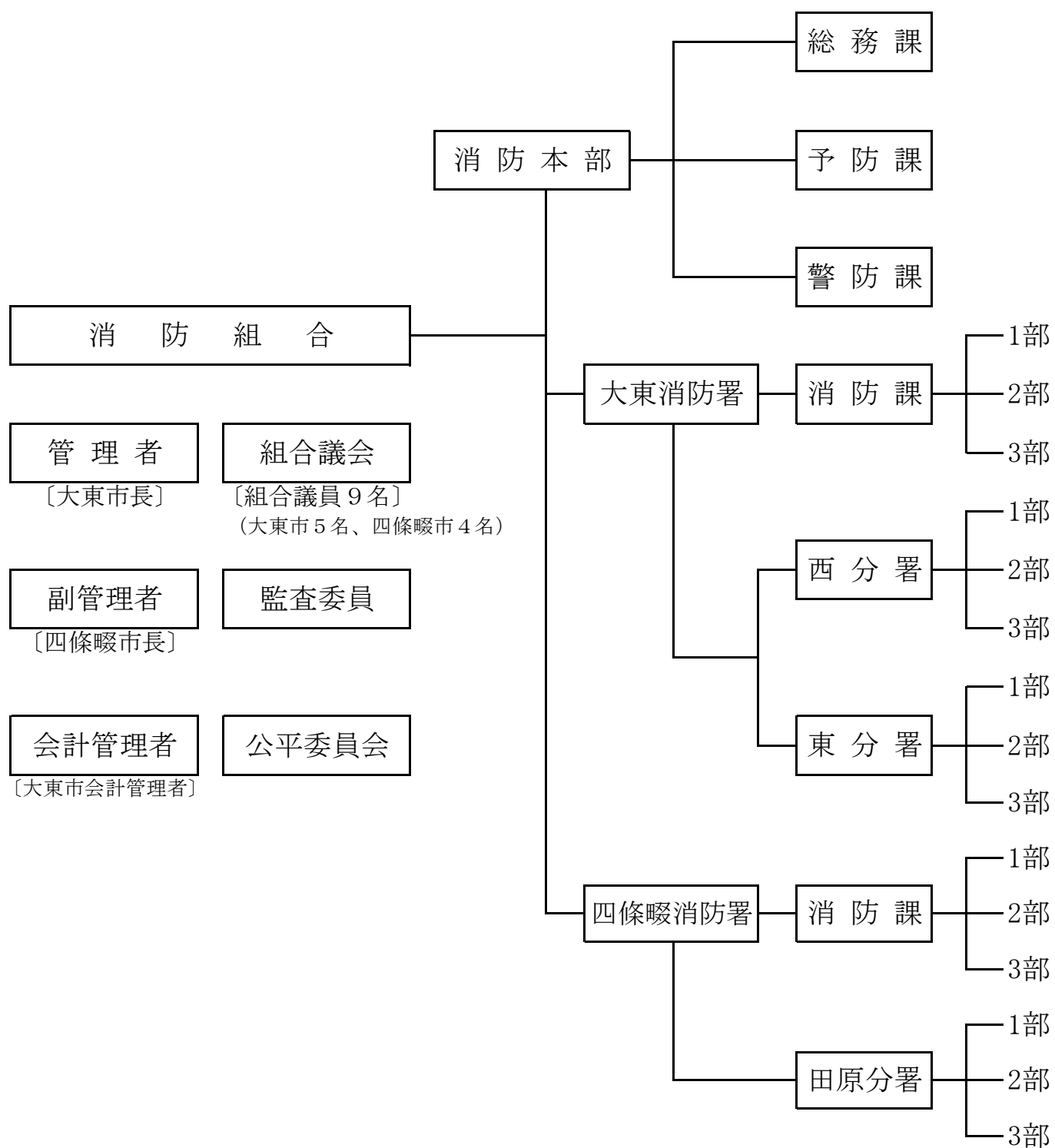
	天ぷら油火災実験台を消防署に配置 救急救命士養成課程1名派遣
平成 7年	消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新し、車載用無線機(10W)、携帯無線機(5W)を装備し、消防署に配置 指令車兼査察車を消防署に配置し、車載用無線機(10W)を装備 清滝婦人防火クラブが設立発足
平成 8年	枚方信用金庫から防護服2着、防毒服5着の寄贈を受け、消防署に配置 耐震性貯水槽(100m³)を江瀬美地区に設置 消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新し、車載用無線機(10W)、携帯無線機(5W)を装備し、消防署に配置 インパルス消火システム(I FEX12リッターバックパック)を消防署に配置 耐震性貯水槽(60m³)を、滝木間地区に設置 高圧ガス充填設備を消防署に配置 車載用無線機9基、携帯無線機8基に全国共通波増波 救急救命士養成課程1名派遣 四條畷市婦人防火クラブ連絡協議会が設立発足
平成 9年	高規格救急自動車(高度救命処置用資材積載)購入し、車載用無線機(10W)、携帯無線機(5W)を装備、消防署に配置 高規格救急自動車用消毒機(超微粒子噴霧消毒機)、消防署に配置 耐震性貯水槽(100m³)を北出地区に設置 職員執務服、救助服用アポロキャップを導入 携帯電話(火災調査専用)を予防課に配置 携帯無線機(5W)を更新し、消防署に配置 携帯電話からの119番通報接続機器を消防署に配置 救急救命士養成課程1名派遣
平成10年	耐震性貯水槽(100m³)を砂地区に設置 携帯無線機(5W)を更新し、消防署に配置 救急救命士養成課程1名派遣 四條畷中央ライオンズクラブから消防用自動車の寄贈を受け、消防署に配置
平成11年	耐震性貯水槽(100m³)を清滝地区に設置 携帯無線機(5W)を更新し、消防署に配置 救急救命士養成課程1名派遣
平成12年	枚方信用金庫から普通乗用車の寄贈を受け、消防本部に配置 救急救命士養成課程1名派遣
平成13年	(社)大阪府モーターボート競走会から応急手当普及啓発車の寄贈を受け、消防署に配置 高規格救急自動車(高度救命処置用資材積載)購入し、田原分署に配置 救急救命士養成課程1名派遣
平成14年	消防ポンプ自動車(CD- I 型)を更新し、消防署に配置

平成15年	救急救命士養成課程1名派遣 消防本部庁舎耐震診断を実施 救急救命士養成課程1名派遣 四條畷中央ライオンズクラブから多目的車両(軽四輪貨物車)の寄贈を受け、消防署配置
平成16年	緊急消防援助隊に登録(消火隊1隊、救急隊1隊)
平成17年	消防本部庁舎耐震改修及び付属棟増設 枚方信用金庫から緊急消防援助隊用資機材エアートント(アキレスV-45)等の寄贈を受け消防署に配置
平成18年	消防本部庁舎付属棟内に救助訓練施設(ほふく救出用煙道)を設置 第35回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(ほふく救出)で入賞 消防本部庁舎に屋外横断幕展張施設を設置 田原分署庁舎に屋外懸垂幕展張施設を設置
平成19年	高規格救急自動車(高度救命処置用資材積載)購入し、消防署に配置 四條畷市防火協会から軽四輪貨物車の寄贈を受け、消防署に配置 第36回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(ほふく救出)で入賞 救助工作車(Ⅱ型)を消防署に配置
平成20年	女性消防吏員初採用(1名) 第37回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(ほふく救出)で入賞 緊急消防指令台を更新(携帯電話・IP電話発信地表示装置整備)
平成21年	消防本部庁舎に女子用更衣室、浴室等を整備 第38回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(ほふく救出)で入賞 高規格救急自動車(高度救命処置用資材積載)を更新し、田原分署に配置
平成22年	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新(CAFS1号)し、田原分署に配置 第39回消防救助技術近畿地区指導会に出場し、陸上の部(ほふく救出)で入賞 枚方信用金庫から普通乗用車(ハイブリッド仕様)の寄贈を受け、消防本部に配置
平成22年	市制施行40周年記念事業として消防フェアを開催 ドイツ国メアブッシュ市と国際友好都市を提携 原動機付き自転車2台を消防署に配置
平成23年	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新(CAFS2号)し、消防署に配置 東日本大震災被災地(岩手県大槌町)に緊急消防援助隊を派遣(消防隊) (大阪府隊第1陣4名、第2陣4名、計8名) 東日本大震災で緊急消防援助隊を派遣した功績で総務大臣表彰受章 コミュニティ助成事業の助成を受け、OA機器、心肺蘇生訓練人形、AEDトレーナーを整備
平成24年	消防ポンプ自動車(CD-Ⅰ型)を更新(CAFS3号)し、消防署に配置 第41回消防救助技術近畿地区指導会に陸上の部(ほふく救出)で出場 岡山女性防火クラブが設立発足 大阪府から権限移譲を受け、『火薬類取締法』『高圧ガス保安法』『液化石油ガスの

保安の確保及び取引の適正化に関する法律』の事務を開始
平成25年 第42回消防救助技術近畿地区指導会に陸上の部(ほふく救出)で入賞
平成26年 四條畷中央ライオンズクラブから軽消防自動車の寄贈を受け、四條畷消防署に配置
3月31日 四條畷市消防本部廃止

3 総 務

(1) 組織図



(2) 事 務 分 掌

消防本部

《総 務 課》

- (1) 議会に関すること。
- (2) 公平委員会に関すること。
- (3) 行政手続制度に関すること。
- (4) 訴訟に関すること。
- (5) 企画に関すること。
- (6) 消防の広域化に関すること。
- (7) 情報公開及び個人情報保護に関すること。
- (8) 秘書、渉外及び儀式に関すること。
- (9) ほう賞及び表彰に関すること。
- (10) 広報及び広聴の事務に関すること。
- (11) 入札及び契約に関すること。
- (12) 公印の保管に関すること。
- (13) 文書管理に関すること。
- (14) 予算及び決算に関すること。
- (15) 例規の制定及び改廃に関すること。
- (16) 庁舎の維持管理に関すること。
- (17) 財産の取得、処分及び管理に関すること。
- (18) 人事及び職員の任免等に関すること。
- (19) 給与等の支給に関すること。
- (20) 監査事務に関すること。
- (21) 消防職員委員会に関すること。
- (22) 服制及び貸与品に関すること。
- (23) 公務災害補償に関すること。
- (24) 服務及び研修に関すること。
- (25) 福利厚生及び衛生管理に関すること。
- (26) 消防団関係団体に関すること。
- (27) 統計事務に関すること。
- (28) 消防長会事務に関すること。
- (29) 他の課の主管に属さないこと。

《予 防 課》

- (1) 予防広報に関すること。
- (2) 各種火災予防運動に関すること。
- (3) 防火管理者等の指導に関すること。
- (4) 危険物及び指定可燃物に関すること。
- (5) 立入検査に関すること。

- (6) 危険物取扱者の指導に関すること。
- (7) 火薬類の取締りに関すること。
- (8) 高圧ガスの保安に関すること。
- (9) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関すること。
- (10) 圧縮アセチレンガス等の防火指導に関すること。
- (11) 防火推進団体事務の総括に関すること。
- (12) 統計事務に関すること。

《警 防 課》

- (1) 消防隊の業務に関すること。
- (2) 救助業務に関すること。
- (3) 救急業務に関すること。
- (4) 災害対応に関すること。
- (5) 消防水利に関すること。
- (6) 開発許可申請の審査に関すること。
- (7) 庁舎設備の維持管理に関すること。
- (8) 車両及び機械器具に関すること。
- (9) 緊急消防援助隊に関すること。
- (10) 統計事務に関すること。
- (11) 消防通信に関すること。
- (12) 消防相互応援その他協定に関すること。
- (13) その他、消防警備に関すること。

消 防 署

《消防課》

- (1) 水火災等の災害に関すること。
- (2) 救急に関すること。
- (3) 救助に関すること。
- (4) 火災予防に関すること。
- (5) 火災予防運動に関すること。
- (6) 防火管理者等の指導に関すること。
- (7) 危険物及び指定可燃物に関すること。
- (8) 立入検査に関すること。
- (9) 危険物取扱者の指導に関すること。
- (10) 圧縮アセチレンガス等の防火指導に関すること。
- (11) 建築同意事務及び消防用設備等に関すること。
- (12) 火を使用する設備等の防火指導に関すること。
- (13) 消防通信に関すること。
- (14) 消防水利に関すること。
- (15) 火災等の原因及び損害の調査に関すること。

- (16) 消防団の訓練指導等に関する事。
- (17) 防火推進団体に關する事。
- (18) 統計事務に關する事。
- (19) 課の庶務に關する事。

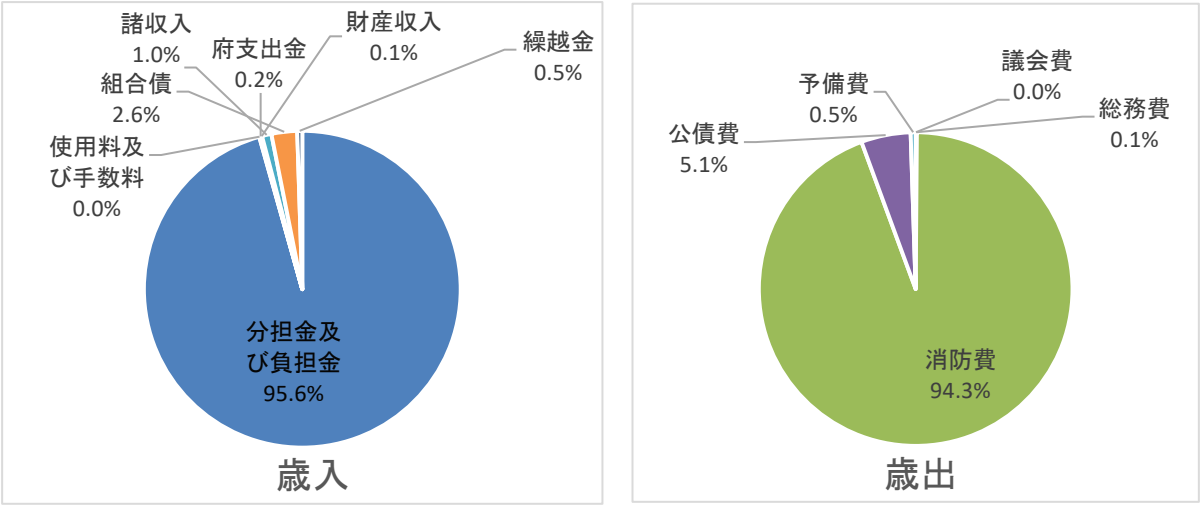
《分 署》

- (1) 水火災等の災害に關する事。
- (2) 救急に關する事。
- (3) 救助に關する事。
- (4) 火災予防に關する事。
- (5) 火災予防運動に關する事。
- (6) 消防通信に關する事。
- (7) 消防水利に關する事。
- (8) 火災等の原因及び損害の調査に關する事。
- (9) 消防団の訓練指導等に關する事。
- (10) 分署の庶務に關する事。

(3) 予 算

令和5年度当初予算 (単位:千円)

歳 入			歳 出		
分担金及び負担金	1,867,989	95.6%	議会費	1,193	0.0%
使用料及び手数料	1,209	0.0%	総務費	1,218	0.1%
府 支 出 金	3,443	0.2%	消防費	1,841,524	94.3%
財 産 収 入	988	0.1%	公債費	99,719	5.1%
諸 収 入	18,825	1.0%	予備費	10,000	0.5%
組 合 債	51,200	2.6%			
繰 越 金	10,000	0.5%			
合 計	1,953,654	100%	合 計	1,953,654	100%



組合構成市負担割合 (単位:千円)

構 成 市	令和4年度 基準財政需要額(消防費)	負担割合 (%)
大 東 市	1,477,049	64.59%
四 條 畷 市	809,669	35.41%
合 計	2,286,718	100%

(4) 決算状況

(単位:円)

区 分 \ 年 度		令和4年度	令和5年度	前年度比較
議 会 費		1, 162, 657	1, 133, 760	△ 28,897
総 務 費		1, 078, 999	1, 080, 438	1, 439
消 防 費		1, 840, 660, 606	2, 015, 145, 858	174, 485, 252
	給 料	688, 738, 406	709, 371, 810	20, 633, 404
	職 員 手 当 等	607, 599, 913	635, 077, 899	27, 477, 986
	共 済 費	261, 823, 815	266, 876, 736	5, 052, 921
	報 酬	5, 292, 314	2, 128, 777	△ 3, 163, 537
	報 償 費		64, 842	64, 842
	旅 費	819, 806	416, 732	△ 403, 074
	需 用 費	84, 004, 480	62, 084, 794	△ 21, 919, 686
	役 務 費	9, 586, 577	9, 786, 984	200, 407
	委 託 料	46, 992, 884	234, 814, 872	187, 821, 988
	使 用 料 及 び 賃 借 料	16, 852, 949	17, 247, 252	394, 303
	工 事 請 負 費	4, 745, 400	17, 234, 800	12, 489, 400
	原 材 料 費	25, 531	24, 860	△ 671
	備 品 購 入 費	99, 783, 315	43, 623, 017	△ 56, 160, 298
	負担金補助及び交付金	13, 757, 116	15, 301, 083	1, 543, 967
	補償補填及び賠償金		100, 000	100, 000
	公 課 費	638, 100	991, 400	353, 300
公 債 費		103, 079, 814	99, 437, 851	△ 3, 641, 963
合 計		1, 945, 982, 076	2, 116, 797, 907	170, 815, 831

管内人口、世帯に対する決算割合 人口、世帯にあつては年度末現在の数字(単位:円)

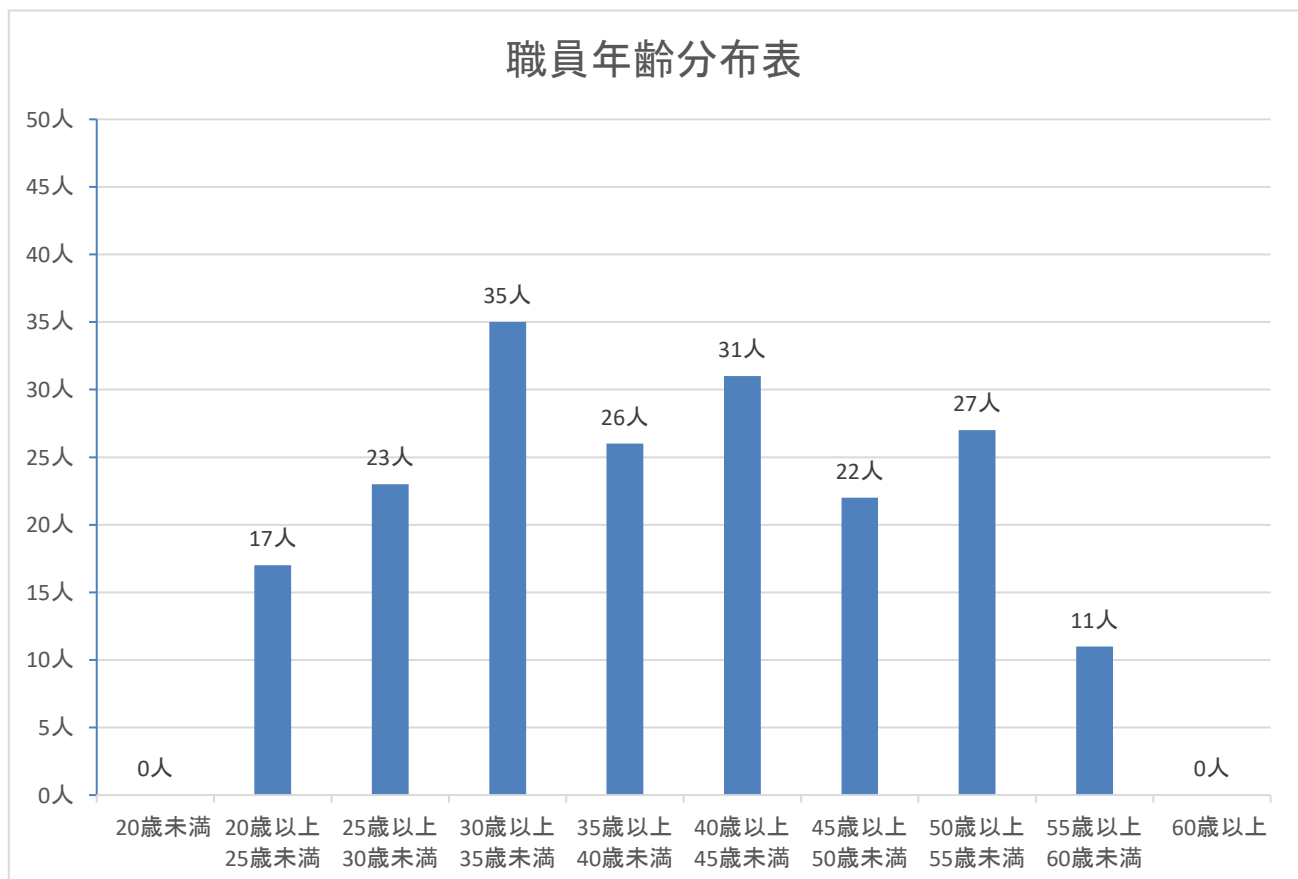
年 度 \ 区 分		決 算 額	1人当たりの 決算額	1世帯当たりの 決算額
令和4年度	人口171,617	1, 945, 982, 076	11, 339	23, 526
	世帯:82,715			
令和5年度	人口170,324	2, 116, 797, 907	12, 428	25, 454
	世帯:83,127			

(5) 階級別年齢構成

令和5年4月1日現在

階級別 年 齡 別	消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	合 計
職 員 数	1	3	7	33	49	45	35	19	192	
平均年齢	55.0	54.7	52.9	50.5	43.1	34.8	29.2	23.0	42.9	
20歳未満										
20歳以上 25歳未満								17	17	
25歳以上 30歳未満						2	19	2	23	
30歳以上 35歳未満					1	22	12		35	
35歳以上 40歳未満					10	12	4		26	
40歳以上 45歳未満				2	20	9			31	
45歳以上 50歳未満			2	12	8				22	
50歳以上 55歳未満		1	1	15	10				27	
55歳以上 60歳未満	1	2	4	4					11	
60歳以上										

※再任用職員及び構成市からの派遣職員を除く。

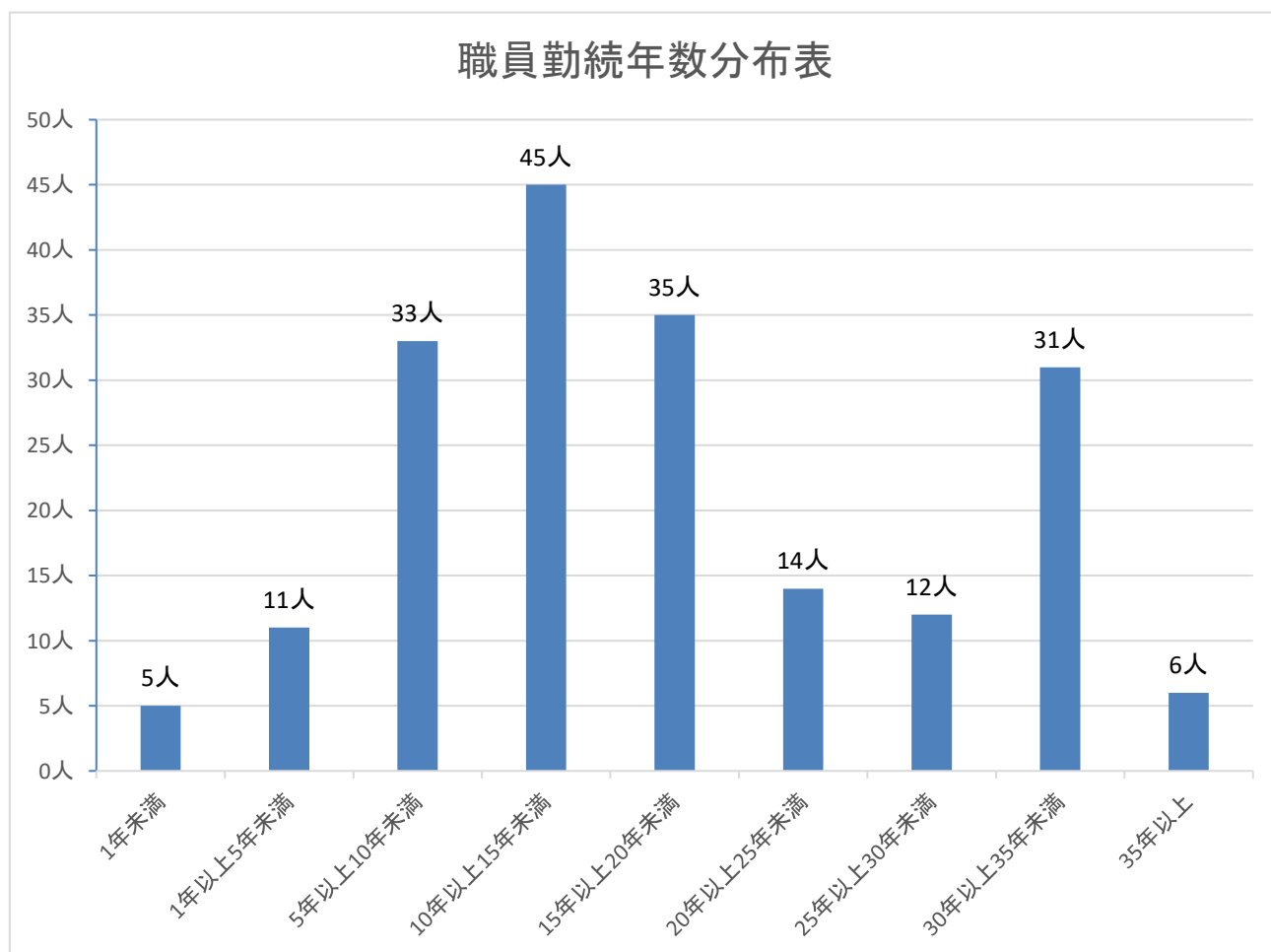


(6)階級別勤続年数

令和5年4月1日現在

階級別 勤続年数別	消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 士 防 長	消 防 副士長	消防士	合 計
合 計	1	3	7	33	49	45	35	19	192	
1年未満									5	5
1年以上5年未満								3	8	11
5年以上10年未満							7	20	6	33
10年以上15年未満						2	32	11		45
15年以上20年未満					1	27	6	1		35
20年以上25年未満				1	7	6				14
25年以上30年未満				2	6	4				12
30年以上35年未満	1	2	3	15	10					31
35年以上			1	1	4					6

※再任用職員及び構成市からの派遣職員を除く。



(7)職員配置状況

令和5年4月1日現在

階級別 所属別		消 防 吏 員								合 計	
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士		
定 員		190								—	
実 員		1	3	7	33	49	45	35	19	192	
消 防 本 部	消 防 長		1							1	
	消防次長			1						1	
	次 長				1					1	
	各 課	総 務 課			1	2	5	1	3	2	14
		予 防 課			1	2	2		1		6
		警 防 課				2	1	2			5
	小 計		1	1	3	6	8	3	4	2	28
消 防 署	大 東 消 防 署			1	2	17	26	31	18	11	106
		署 長		1							1
		副 署 長			2						2
		消 防 課				1		2			3
		消 防 課(各部)				8	14	15	9	3	49
		西 分 署(各部)				3	6	6	5	4	24
		東 分 署(各部)				5	6	8	4	4	27
	四 條 畷 消 防 署			1	2	10	15	11	13	6	58
		署 長		1							1
		副 署 長			1						1
		消 防 課			1		1				2
		消 防 課(各部)				7	8	7	9	5	36
		田原分署(各部)				3	6	4	4	1	18
		小 計			2	4	27	41	42	31	17

※再任用職員及び構成市からの派遣職員を除く。

職員派遣状況

令和5年4月1日現在

階級別 団体別		消 防 吏 員								合 計
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
派遣している職員										
構成市	大 東 市					1				1
	四條畷市					1				1
消防学校等教育機関										
大 阪 府										
その他の団体										
合 計						2				2
派遣を受けている職員										
構成市	大 東 市				1					1
	四條畷市									
合 計					1					1

※再任用職員を除く。

再任用職員配置状況

令和5年4月1日現在

階級別 所属別		消 防 吏 員								合 計
		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
消 防 本 部				1						1
消 防 署	大 東 消 防 署 (小計)									
		消 防 課								
		消 防 課(各部)								
		西 分 署(各部)								
		東 分 署(各部)								
	四條畷消防署 (小計)					1	3			4
		消 防 課								
		消 防 課(各部)								
		田原分署(各部)				1	3			4
派 遣	大 東 市									
	四條畷市									
合 計				1		1	3			5

(8) 職員資格取得状況

令和5年4月1日現在

資格別		階級別								
		消防正監	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	合計
自動車運転免許	大型免許	1	3	6	28	33	21	15		107
	中型免許					11	13	16	6	46
	中型免許(8 t 限定)			1	5	5	9	2		22
	準中型免許								2	2
	普通免許						2	2	11	15
消防設備士		(甲種)					1			1
		(乙種)	1		2	3	5	6	5	23
危険物取扱者		(甲種)				1	2			3
		(乙種)	1	1	7	23	34	27	18	117
		(丙種)			1		1	3		5
小型船舶操縦士		1	2	3	17	6	5	6	1	41
玉掛技能者				1	12	19	19	8		59
クレーン運転技能者				1	12	18	18	10		59
高圧ガス製造保安責任者			2	1	6	1				10
ガス溶接技能者			2	2	14	12	6	1	1	38
陸上特殊無線技士		1	3	7	33	49	26	3	9	131
高所作業車運転技能者					7	14	15	11	4	51
特定化学物質等作業主任者		1	2	2	12	11	9	1		38
衛生管理者			1	1	4	1				7
救急隊員			1	4	21	36	25	28	14	129
救急救命士		1	2	3	12	14	20	7	2	61
潜水士			2	1	13	19	11	5		51

※再任用職員を除く

(9) 職員研修派遣状況

令和5年度中

実 施 機 関	種 別	実施回数	派遣人数
大阪府立消防学校	初任教育(前期)	1	2
	幹部教育	初級幹部科	1
		中級幹部科	1
		予防科防火査察	4
	専科教育	予防科消防用設備	2
		予防科危険物	2
		警防科	2
		火災調査科	2
	特別教育	採用3年目研修	5
		はしご車技能講習	2
		通信指令研修	1
		教育技法研修	1
		女性活躍推進研修	1
消防長会受託研修	大阪市受託	方面隊研修	1
		火災調査研修(調査鑑識短期コース)	1
		違反処理指導者研修(短期コース)	1
		指令情報センター研修	1
大阪市消防局	受託研修	上級予防研修(建築・設備コース)	1
		上級予防研修(査察コース)	1
		上級救助研修	1
		指揮研修	1
		水難救助基本技術研修	2
		火災調査指導者育成研修	1
		火災調査指導者研修	1
		火災調査研修	1
		特殊災害研修	1
		救助隊電気災害研修Ⅱ	1
北河内MC 医療機関	救急救命士再教育病院実習		28
	救急救命士気管挿管病院研修		2
	救急救命士ビデオ喉頭鏡病院実習		2
	救急救命士養成課程		1
	特定化学物質講習		1
	指導救命士養成課程		1
実務担当者講習	安全運転管理者講習		4
	安全衛生推進者講習		2
	足場組立等特別教育		2
	第二級特殊無線技士養成講習		8
	主任無線従事者講習		1
	小型移動式クレーン講習		1
	高所作業車運転講習		2
	玉掛技能講習		3
	大型・中型自動車免許取得		6
	こころのケア研修		1
	大阪府機関員養成講習		1
	マネジメント基礎研修		7

(10) 消防相互応援協定

名 称	締結年月日	協 定 先	協 定 事 項
大阪府北ブロック消防相互応援協定	昭和40年6月22日	吹田市、守口市、高槻市、枚方市、茨木市、寝屋川市、門真市、摂津市、交野市、島本町、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合	消防・救急業務
大阪市・大東四條畷消防組合消防相互応援協定	昭和40年12月1日	大阪市	〃
東大阪市・大東四條畷消防組合消防相互応援協定	昭和42年6月1日	東大阪市	〃
北部生駒山系林野火災消防相互応援協定	昭和44年9月1日	交野市、生駒市	林 野 火 災
大阪市・大東四條畷消防組合航空消防応援協定	昭和45年10月1日	大阪市	航空機による消防業務
大阪府下広域消防相互応援協定	昭和63年9月1日	府下全域	大規模な災害及び火災・救急等
第二京阪道路（枚方東 I C から門真 I C）消防相互応援協定	平成22年1月27日	京田辺市、交野市、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合	消防・救急業務
生駒市・大東四條畷消防組合消防相互応援協定	平成27年5月19日	生駒市	消防・救急業務

その他の協定等

名 称	締結年月日	協 定 先
市域境界線上に位置する消防対象物の取扱いに関する協定	昭和53年12月20日	大阪市
〃	昭和54年3月31日	東大阪市、枚方寝屋川消防組合、守口市門真市消防組合、交野市
ガス漏れ及び爆発事故の防止対策に関する申し合わせ	昭和56年8月1日	大阪瓦斯（株）東部導管事業所
大阪府下火災調査相互応援に関する申し合わせ	平成13年4月12日	府下全域

4 消 防 署

(1) 消防車両等の配置

令和5年度末現在

所属	名称	車名	型 式	年式	総排気量 (CC)	ポンプ規格	備 考
消防本部	公用車	トヨタ	E-JZS155	平成8年	G2990		
	連絡車1	ダイハツ	EBD-S321V	平成26年	G650		
	危険物号	ニッサン	HBD-DR17V	平成30年	G650		
	広報車「水来」	ニッサン	EBD-DR16T	令和2年	G650		
	装備車	ニッサン	TC-SK82TN	平成19年	G1780		
	広報車	トヨタ	6BA-MXAA54	令和2年	G1980		
大東署	大東ポンプ	日野	TKG-XZU640M	平成26年	D4000	A-2	CAFS
	大東ポンプ2	日野	BDG-XZU334M	平成22年	D4000	A-2	CAFS
	大東梯子	日野	QDG-PR1APEF	平成29年	D8860		
	大東救助	日野	BDG-GX7JGWA改	平成23年	D6400		
	大東指揮	トヨタ	3DF-GDH206K	令和4年	G2750		
	大東救急	トヨタ	CBF-TRH226S	平成29年	G2690		
	大東救急2	トヨタ	CBF-TRH226S	平成27年	G2690		
	大東調査	マツダ	ABF-SK82M	平成22年	G1780		
	大東支援	トヨタ	LDF-KDH206V改	平成29年	D2980		
	査察号	スズキ	5BD-DA17V	令和4年	G650		
西分署	西ポンプ	日野	2RG-XZU640M	令和5年	D4000	A-2	CAFS
	西ポンプ2	日野	BDG-XZU334M	平成23年	D4000	A-2	CAFS
	西救急	トヨタ	3BF-TRH226S	令和3年	G2690		
	西化学	日野	BDG-FD7JEWA改	平成19年	D6400	A-2	
	連絡車3	ダイハツ	EBD-S321V	平成25年	G650		
東分署	東ポンプ	日野	SKG-XZU685M	平成24年	D4000	A-2	CAFS
	東高所	イスズ	TKG-NKR85YN	平成27年	D2990		
	東救急	トヨタ	CBF-TRH226S	平成31年	G2690		
	連絡車2	ダイハツ	EBD-S321V	平成25年	G650		
四條畷署	畷ポンプ1	日野	TPG-XZU640M	平成30年	D4000	A-2	CAFS
	畷ポンプ2	日野	SKG-XZU640M	平成23年	D4000	A-2	CAFS
	畷ポンプ3	日野	BDG-XZU334M	平成22年	D4000	A-2	CAFS
	畷救助	日野	2KG-GX2ABA	令和4年	D5120		
	畷活動	トヨタ	LDY-KDH206V改	平成27年	D2980		
	畷救急	トヨタ	CBF-TRH226S	令和元年	G2693		
	畷救急2	トヨタ	CBF-TRH226S	平成28年	G2690		
	畷連絡	ダイハツ	EBD-S321V	平成26年	G650		
	畷団体	トヨタ	DAA-ZVW30	平成22年	G1790		
田原分署	田原タンク	日野	SDG-GD7JGAA改	平成27年	D6400	A-2	CAFS
	田原救急	トヨタ	3BF-TRH226S	令和4年	G2690		
	畷広報	三菱	GBD-U62V	平成19年	G650		

(2) 通信施設

令和5年度末現在

所属	名							称			数量
消防本部・大東消防署	高機能消防指令センター（Ⅱ型統合位置情報システム）		緊呼	急専	通用	報回	用線	回数線数	8		
			専用回線					非常用衛星通信電話回線	1		
								署所指令回線	5		
								転送回線	1		
								順次指令回線	4		
			指令装置					自動出動指令装置	1		
								地図検索装置	1		
								署所端末装置	1		
								指令伝送装置	1		
			多目的情報表示装置					支援情報表示盤	1		
								車両運用表示盤	1		
								屋外表示盤	1		
			無線統制台							1	
			出場車両運用管理装置							1	
			車両運用端末装置							1	
			メー ル 1 1 9 受信装置							1	
			1 1 9 番緊急通報用 F A X							1	
			全国瞬時警報システム（ J - A L E R T ）							1	
			気象情報収集装置							1	
			音声合成装置							1	
			多言語通訳							1	
	緊急通報		N E T 1 1 9 緊急通報システム							1	
	有線電話		加入電話							6	
	F A X 電話		フ ァ ク シ ミ リ 電話装置							2	
	災害情報電話		災害情報案内							4	
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3		
基地局		○	○	○	○	○	○	○	1		
移動局	可搬型	○	○	○	○	○	○	○	1		
	車載型	○	○	○	○	○	○	○	11		
	携帯型	○	○	○	○	○	○	○	10		

西 分 署	有 線 電 話		加 入 電 話							1
			署 所 指 令 専 用 線							1
			署 所 専 用 電 話							1
	F A X 電 話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置							1
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	
	移動局	可 搬 型	○	○	○	○	○	○	○	1
		卓 上 型	○	○	○	○	○	○	○	1
		車 載 型	○	○	○	○	○	○	○	4
		携 帯 型	○	○	○	○	○	○	○	3
東 分 署	有 線 電 話		加 入 電 話							1
			署 所 指 令 専 用 線							1
			署 所 専 用 電 話							1
	F A X 電 話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置							1
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	
	移動局	卓 上 型	○	○	○	○	○	○	○	1
		車 載 型	○	○	○	○	○	○	○	3
		携 帯 型	○	○	○	○	○	○	○	3
四 條 畷 消 防 署	有 線 電 話		加 入 電 話							4
			署 所 指 令 専 用 線							1
			署 所 専 用 電 話							1
	F A X 電 話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置							1
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	
	移動局	卓 上 型	○	○	○	○	○	○	○	1
		車 載 型	○	○	○	○	○	○	○	8
		携 帯 型	○	○	○	○	○	○	○	6
田 原 分 署	有 線 電 話		加 入 電 話							1
			署 所 指 令 専 用 線							1
			署 所 専 用 電 話							1
	F A X 電 話		フ ァ ク シ ミ リ 電 話 装 置							1
	種別		活動波1	活動波2	活動波3	主運用波	統制波1	統制波2	統制波3	
	基 地 局		○	○	○	○	○	○	○	1
	移動局	可 搬 型	○	○	○	○	○	○	○	1
		車 載 型	○	○	○	○	○	○	○	2
		携 帯 型	○	○	○	○	○	○	○	3

(3) 訓練指導等の実施状況

対象	学校関係	事業所関係	地域住民	署内見学	合計
回数	12	38	4	7	61
参加人員	3,710	1,726	105	127	5,668
延べ時間	10	30	3	12	55

(4) 水利の使用状況

水利別	消火栓	防火水槽	プール	池	川	積載水	その他	計
回数	455					19		474
水量(m³)	2,064					63		2,127

(5) 通常業務

活動区分	警備・踏査	訓練関係	予防・ 防火指導	教養・研修	情報管理	整備・保全	その他	合計
回数	475	1,571	174	123	45	1,689	4	4,081
延べ人員	1,690	5,776	685	739	190	13,002	17	22,099
延べ時間	510	1,975	201	163	78	958	6	3,891

(6) 通信指令室

災害種別通報内訳件数

	119		加入電話	Eメール NET	FAX	駆け付け	事後聞知	その他	合 計
	固定・IP	携帯							
火災	7	21	1				6	3	38
救急	4,106	6,772	886		1	44		71	11,880
救助	5	60	74					21	160
警戒・その他	39	128	77			9	1	30	284
計	4,157	6,981	1,038		1	53	7	125	12,362
	11,138								

医療情報照会

	内 科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼 科	精神科	その他	合 計
件 数	357	130	6	22	19	9	306	849
百分率	42.1%	15.3%	0.7%	2.6%	2.2%	1.1%	36.0%	100%

年末・年始(令和5年12月29日～令和6年1月3日)の医療情報照会に関わる問い合わせ件数

	内科	小児科	産婦人科	耳鼻咽喉科	眼科	精神科	その他	合計
12月29日	3		1		1		2	7
30日	3	1	1		2		2	9
31日	4	1					2	7
1月1日	6	3	1				6	16
2日	9	1		2			3	15
3日	3	2					1	6
計	28	8	3	2	3		16	60

119番受信状況

	火 災	救急	救助	その他災害	問い合わせ	試 験	いたずら	間違い	その他	合 計
1月	7	956	5	4	156	19	1	62	243	1,453
2月	1	787	3	11	85	25	2	89	283	1,286
3月	3	751	6	14	92	35	2	85	222	1,210
4月	6	754	4	13	82	32	23	159	210	1,283
5月	3	849	7	13	104	32	1	99	249	1,357
6月	7	810	1	9	90	49	2	108	235	1,311
7月	9	1,009	5	4	124	28		123	281	1,583
8月	5	1,091	5	8	121	32		133	259	1,654
9月	3	908	1	10	119	29	1	60	218	1,349
10月	4	821	2	7	95	51	3	93	205	1,281
11月	8	885	2	9	114	64	2	70	197	1,351
12月	3	992	3	4	103	46		80	215	1,446
計	59	10,613	44	106	1,285	442	37	1,161	2,817	16,564

※加入電話、Eメール119、FAX119等は除く

※通信指令台にて受信した件数(同事案通報を含む)

※通報段階で種別を判断した受信状況



(7) 消防水利の概況

令和5年度末現在

区分			大東市			四條畷市		合計
			大東署管内	西分署管内	東分署管内	四條畷署管内	田原分署管内	
消 火 栓	公 設	7 5 mm	30	45	56	95	40	266
		1 0 0 mm	100	119	118	98	24	459
		1 5 0 mm	336	419	317	123	40	1,235
	消 火	2 0 0 mm	38	94	85	111	17	345
		2 5 0 mm	19	5		43	3	70
		3 0 0 mm	61	66	46	34	1	208
	栓 の 配 管	3 5 0 mm	6			1	1	8
		4 0 0 mm	5	5	3	4		17
		4 5 0 mm						
	口 径	5 0 0 mm	5		4	11		20
		6 0 0 mm	26	12	9	4		51
		600mm超			1			1
	合 計		626	765	639	524	126	2,680
防 火 水 槽	公 設		36	24	45	31	18	154
	私 設		23	44	36	42	29	174
	合 計		59	68	81	73	47	328

※ 私設消火栓及びその他の水利(プール等)は含まない。

(8)消防資機材等保有状況

令和5年度末現在

分 類	資 器 材 名	数 量
放 水 器 具	筒 先	75
	ホ ー ス	812
	可 搬 式 放 水 タ ー レ ッ ト	3
	ラ イ ン プ ロ ポ ー シ ョ ナ ー	1
	ジ ェ ッ ト シ ュ ー タ ー	83
	林野火災用多口放水セット(ドラゴン)	4
	泡 消 火 薬 剤	72
	簡 易 水 槽	6
一 般 救 助 用 具	か ぎ 付 は し ご	9
	三 連 は し ご	15
	金 属 製 折 り た た み は し ご 又 は ワ イ ヤ は し ご	2
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	2
	救 命 索 発 射 銃	1
	サ バ イ バ ー ス リ ン グ 又 は 救 助 用 縛 帯	19
	平 担 架	2
重 量 物 排 除 用 器 具	可 搬 ウ イ ン チ	5
	ワ イ ヤ ー ロ ー プ	22
	マ ン ホ ー ル 救 助 器 具	3
	マ ッ ト 型 救 助 ジ ャ ッ キ	2
	救 助 用 支 柱 器 具	2
	油 圧 ス プ レ ッ ダ ー (大 型 含 む)	2
	油 圧 ジ ャ ッ キ	2
切 断 用 器 具	油 圧 切 断 器 具 (大 型 含 む)	3
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	10
	ガ ス 溶 断 機	2
	チ ェ ー ン ソ ー	3
	鉄 線 カ ッ タ ー	35
	空 気 鋸	2

分 類	資 器 材 名	合 計
破 壊 用 器 具	万 能 斧	56
	削 岩 機	2
	ハ ン マ ー ド リ ル	4
	ハ ン マ ー	17
	携 帯 用 コ ン ク リ ー ト 破 壊 器 具	2
検 知 ・ 測 定 用 器 具	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	8
	有 毒 ガ ス 測 定 器	1
	放 射 線 測 定 器	7
呼 吸 保 護 用 器 具	空 気 呼 吸 器	61
	送 排 風 機	2
隊 員 保 護 用 器 具	帯 電 衣 セ ッ ト	6
	携 帯 警 報 器	41
	防 毒 マ ス ク	26
	安 全 帯	23
	陽 圧 式 化 学 防 護 服	4
	化 学 防 護 服 (陽 圧 式 除 く)	23
検 索 用 器 具	簡 易 画 像 探 索 機	1
水 難 救 助 用 器 具	救 命 胴 衣	39
	救 命 ボ ー ト	6
	救 命 浮 環	10
山 岳 救 助 用 器 具	バ ス ケ ッ ト 担 架	5
そ の 他 の 救 助 用 器 具	緩 降 機	1
	投 光 器	18
	携 帯 拡 声 器	24
	携 帯 無 線 機	19
	応 急 処 置 用 セ ッ ト	7
	発 電 機	20
高 度 救 助 用 器 具	熱 画 像 直 視 装 置	5

(9) 出動状況

出動区分			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	件数	火掛	3	1	1	2	2	4	2	2	1	3	1	3	25
		その他		1	3	4				2	1	1		1	13
	台数		22	4	18	45	15	22	15	32	10	19	8	8	218
	人員		72	13	59	159	53	76	54	114	36	63	30	28	757
救急	件数		1,096	847	829	866	965	914	1,147	1,226	997	925	973	1,095	11,880
	台数		1,182	1,150	1,153	1,149	1,160	1,133	1,154	1,157	1,156	1,147	1,157	1,175	13,873
	人員		3,623	2,757	2,715	2,809	3,173	2,902	3,671	3,940	3,236	2,991	3,172	3,627	38,616
	PA件数		86	54	57	53	64	37	58	61	60	51	61	79	721
火災外	件数		24	17	22	21	37	29	18	20	24	25	32	15	284
	台数		31	25	22	34	44	51	34	25	41	45	52	15	419
	人員		113	93	90	121	160	184	119	96	147	154	196	62	1,535
救助	件数		19	12	10	18	16	6	24	13	7	13	10	12	160
	台数		82	32	34	119	66	31	76	72	25	62	31	42	672
	人員		291	114	119	410	236	110	273	255	90	214	110	142	2,364

PAとは、救急現場において消防隊と救急隊が連携して救急活動を行うことの総称です。

(10) 火災の概況

区分 年別		件数					うち 爆発	焼損面積		死傷者		損害額(千円)					り 災 世 帯 数
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計		建 物	林 野	死 者	負 傷 者	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	
		(m ²)	(a)	(人)	(人)			(m ²)	(a)	(人)	(人)						
令和元年	大東市	23		3	3	29	1	777	3		13	43,383		656	30	44,069	46
	四條畷市	9	1	1	7	18		659	9	2	7	8,372		1,856	8	10,236	25
令和2年	大東市	12		3	6	21		487			4	63,412		382	211	64,005	19
	四條畷市	4			4	8		304			5	51,559			3	51,562	12
令和3年	大東市	25	1	2	6	34		272	4	1	3	83,081		320	959	84,360	39
	四條畷市	2		2	1	5						14		387		401	3
令和4年	大東市	11	1	1	6	19		899	8	1	6	149,699		16	2798	152,513	18
	四條畷市	9	1	1	3	14		35	9		3	16,960		4		16,964	12
令和5年	大東市	14		1	5	20		1,063			6	84,158		283	4	84,445	12
	四條畷市	11		1	6	18		109		1	2	167,139		52	1016	168,207	7

(11) 曜日別火災発生状況

種別 曜日別	火 災 種 別					うち 爆発
	総数	建物	林野	車両	その他	
総数	38	25		2	11	
日	6	6				
月	9	4		1	4	
火	3	2		1		
水	8	5			3	
木	6	3			3	
金	2	2				
土	4	3			1	
不明						

(12) 出火時刻別火災状況

種別 時間別	火災種別					う ち 爆 発
	総 数	建 物	林 野	車 両	その他	
総 数	38	25		2	11	
0時～ 1時	1	1				
1時～ 2時	1	1				
2時～ 3時	2	2				
3時～ 4時	1				1	
4時～ 5時	1	1				
5時～ 6時	1				1	
6時～ 7時	1	1				
7時～ 8時	1			1		
8時～ 9時	2	1		1		
9時～10時	1				1	
10時～11時	2	1			1	
11時～12時	1	1				
12時～13時	2	2				
13時～14時	2	2				
14時～15時	4	3			1	
15時～16時	2	1			1	
16時～17時	4	1			3	
17時～18時	2	1			1	
18時～19時	2	2				
19時～20時	2	1			1	
20時～21時	2	2				
21時～22時						
22時～23時						
23時～24時	1	1				
不 明						

(13) 風速・湿度別火災発生状況

風 速・湿 度		火 災 種 別				
		件数	建物	林野	車両	その他
総 数		38	25		2	11
0以上～ 3未満 (m)	不 明					
	35(%)未満	2	1			1
	35～55	9	6		1	2
	55～75	8	6			2
	75以上	8	4		1	3
3以上～ 6未満 (m)	不 明					
	35(%)未満	3	1			2
	35～55	7	6			1
	55～75					
	75以上	1	1			
6以上～ 9未満 (m)	不 明					
	35(%)未満					
	35～55					
	55～75					
	75以上					
9以上 (m)	不 明					
	35(%)未満					
	35～55					
	55～75					
	75以上					
不 明	不 明					
	35(%)未満					
	35～55					
	55～75					
	75以上					

(14) 原因別火災状況

項目 年 別	た ば こ	火 遊 び	た き 火	こ ん ろ	ス ト ー ブ	放 火	放 火 の 疑 い	マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	電 気 機 器 ・ 電 気 装 置	そ の 他	不 明	合 計
令和元年	5			10	1	2	1	1	4	1	14	8	47
令和2年	6	2		2	1		1		4	3	1	9	29
令和3年	1	1		2	2	3	2	1	7		13	7	39
令和4年	3		1				2	1	2	1	16	7	33
令和5年	7	1		3		1	1	1	2	1	13	8	38

注) 火災の概況等については、国が発行する消防白書の取り扱い等に準ずるため、当該消防年報刊行後に修正となる場合があります。



【放火による火災】



【寝たばこ等による火災】



【火遊びによる火災】

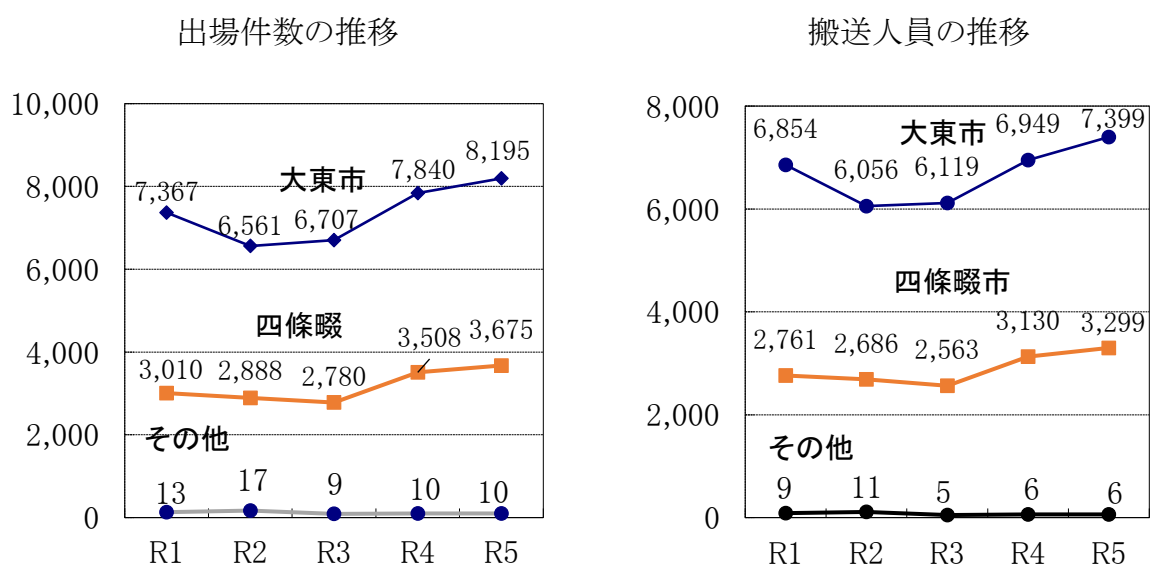
(15) 救急概要

本組合における令和5年中の救急概要は、出場件数が11,880件で前年より522件(4.6%)増加しており、1日平均32.5件の割合で出場したことになります。

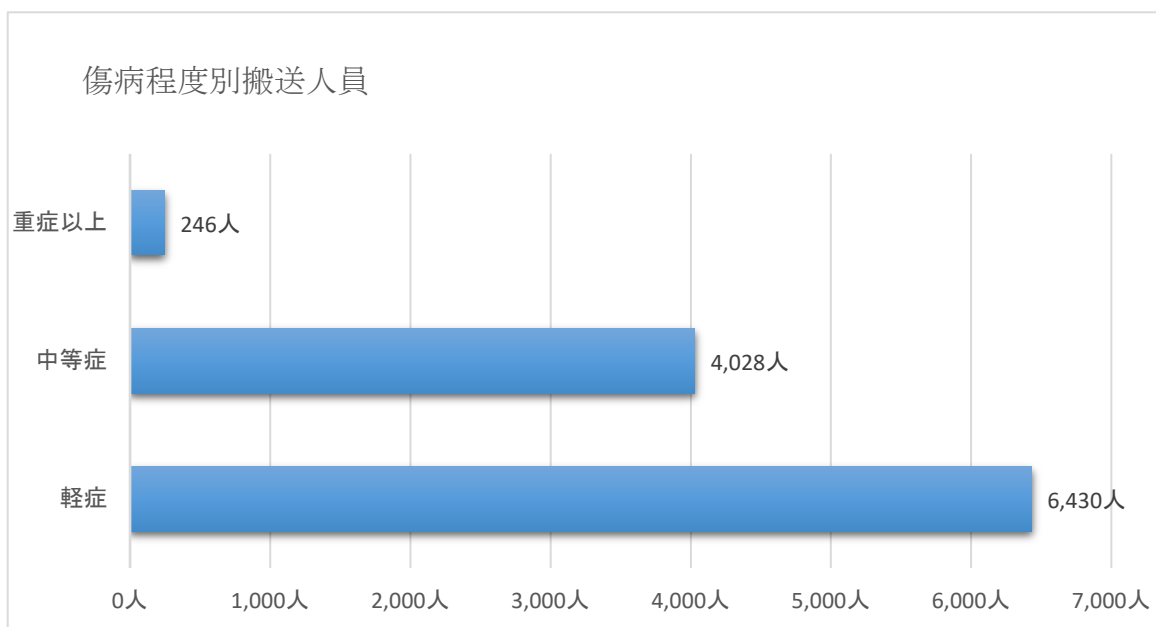
事故種別で分類すると、急病が8,384件(70.6%)で最も多く、次いで一般負傷の1,720件(14.5%)、交通事故の888件(7.5%)となっています。

搬送人員については10,704人で前年より619人(6.1%)増加しています。市民16人に1人が救急車を利用したことになります。

傷病程度別では重症以上が246人(2.3%)、中等症4,028人(37.6%)、軽症6,430人(60.1%)となっています。



※その他とは、大東市、四條畷市以外へ出場した件数及び人員であり、平成25年以前の統計では各市の件数等に含めています。



(16) 事故種別救急出場件数

区分 年別		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 行 為	自 損 行 為	急 病	そ の 他				合 計
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 機 材 搬 送	そ の 他	
令和元年	大東市	56			677	65	50	1,073	39	38	5,066	287			16	7,367
	四條畷市	36			236	21	14	459	12	27	2,085	115			5	3,010
	その他	2			8			1		1	1					13
令和2年	大東市	47			563	55	24	977	34	55	4,465	314			27	6,561
	四條畷市	24			212	23	12	406	16	23	2,062	101			9	2,888
	その他	4			9			1			2				1	17
令和3年	大東市	74		1	531	57	31	963	26	49	4,620	335	1		19	6,707
	四條畷市	6	1		227	18	21	429	11	15	1,927	114			11	2,780
	その他				9											9
令和4年	大東市	30			561	74	47	1,037	30	59	5,638	354		1	9	7,840
	四條畷市	19		1	216	19	29	517	5	15	2,540	142			5	3,508
	その他				7			1			2					10
令和5年	大東市	35			605	57	45	1,172	22	52	5,783	411			13	8,195
	四條畷市	25			279	23	22	546	14	23	2,599	135			9	3,675
	その他	1			4			2			2				1	10

(17) 月別救急出場件数

月別 年別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
令和元年	大東市	748	508	575	570	626	603	692	659	584	591	595	616	7,367
	四條畷市	286	236	234	256	271	219	256	252	228	257	236	279	3,010
	その他		1			1			2		1	3	5	13
令和2年	大東市	617	522	561	456	488	486	599	713	520	517	512	570	6,561
	四條畷市	283	260	233	186	227	232	219	312	220	261	217	238	2,888
	その他	1		3		1	2		3	4	2	1		17
令和3年	大東市	549	485	483	562	542	542	623	586	549	596	581	609	6,707
	四條畷市	215	194	228	223	236	235	254	233	206	234	254	268	2,780
	その他	5				1			1			2		9
令和4年	大東市	639	580	607	582	552	642	788	811	625	678	619	717	7,840
	四條畷市	283	256	244	266	272	260	355	353	266	306	305	342	3,508
	その他					2				2	5	1		10
令和5年	大東市	747	588	553	607	670	645	779	828	707	644	671	756	8,195
	四條畷市	349	259	276	259	295	265	366	397	290	280	301	338	3,675
	その他						4	2	1		1	1	1	10

(18) 曜日別救急出場件数

		日	月	火	水	木	金	土	合 計
火 災 事 故	大東市	11	3	5	6	2	4	4	35
	四條畷市	4	8	1	2	2	2	6	25
	その他					1			1
自 然 災 害	大東市								
	四條畷市								
	その他								
水 難 事 故	大東市								
	四條畷市								
	その他								
交 通 事 故	大東市	69	86	87	94	87	95	87	605
	四條畷市	32	49	38	34	46	45	35	279
	その他	1	1		1			1	4
労 働 災 害	大東市	3	9	12	5	8	11	9	57
	四條畷市	1	6	3	3	5	3	2	23
	その他								
運 動 競 技	大東市	11	4	4	7	4	4	11	45
	四條畷市	10		1	3	1	1	6	22
	その他								
一 般 負 傷	大東市	169	164	165	144	169	183	178	1,172
	四條畷市	82	74	69	62	88	78	93	546
	その他			1		1			2
加 害	大東市	4	3	4	4	1	3	3	22
	四條畷市	3	3	1	2	1	1	3	14
	その他								
自 損 行 為	大東市	7	11	7	4	8	11	4	52
	四條畷市	2	3	6		3	3	6	23
	その他								
急 病	大東市	838	879	821	779	846	839	781	5,783
	四條畷市	390	390	341	388	354	370	366	2,599
	その他						1	1	2
そ の 他	大東市	37	63	76	77	55	56	60	424
	四條畷市	8	23	21	29	17	29	17	144
	その他					1			1
合 計		1,682	1,779	1,663	1,644	1,700	1,739	1,673	11,880

(19) 救急隊の行った応急処置件数

事故種別 処置内容等		急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
応急処置対象人員		7,376	795	1,716	810	10,697	
応	止 血	18	28	79	17	142	
	固 定	9	87	68	51	215	
	人 工 呼 吸	28	1	4	6	39	
	胸 骨 圧 迫						
	心 肺 蘇 生	153	3	15	14	185	
急	酸 素 吸 入	1,272	26	74	174	1,546	
	気 道 確 保	191	4	17	17	229	
	経鼻エアウェイ	6			1	7	
	喉頭鏡、鉗子等	8		4		12	
	ラリングアルマスク等	56		6	3	65	
	気 管 挿 管	60	2	6	9	77	
	処	保 温	280	9	35	48	372
被 覆		15	101	250	55	421	
在 宅 療 法		49		6	2	57	
ショックパンツによる血圧の保持							
除 細 動		13		1	2	16	
置	静脈路確保(輸液)	91	3	8	8	110	
	薬 剤 投 与	65	3	7	9	84	
	その他の応急処置	7,345	791	1,712	794	10,642	
	血 圧 測 定	6,867	773	1,602	773	10,015	
	聴 診 器	1,783	52	94	103	2,032	
件	血中酸素飽和度の測定	7,219	790	1,695	796	10,500	
	心 電 図	2,381	46	160	208	2,795	
	β 刺激薬投与						
	静脈路確保	うちCPA前	14	1	1	1	17
		うちCPA後	71	2	7	7	87
数	血糖測定	31		3		34	
	エピペン投与	1				1	
	ブドウ糖投与	6				6	
	計	28,032	2,722	5,854	3,098	39,706	

CPA：心肺機能停止状態

(20) 現場到着所要時間別出場件数【入電※～現場到着まで】

現場到着 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計	現場到着平均 所要時間
急 病	36	515	5,690	2,109	34	8,384	8:36
交通事故	10	76	591	205	6	888	8:24
一般負傷	9	106	1,135	464	6	1,720	8:42
上記以外	29	125	465	257	12	888	8:24
計	84	822	7,881	3,035	58	11,880	8:36

(21) 収容所要時間別搬送人員【入電※～病院収容まで】

収容所要 時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計	収容平均 所要時間
急 病		39	1,505	5,168	608	56	7,376	40:54
交通事故		8	183	552	53		796	38:00
一般負傷		11	392	1,177	132	6	1,718	39:18
そ の 他	1	16	183	554	54	6	814	39:18
計	1	74	2,263	7,451	847	68	10,704	40:18

※ 各所要時間の起点は、国の統計報告との整合を図るため《指令》時間から《入電》時間に変更しました。



(22) 応急手当普及啓発活動状況

実施年	講習種別	講習回数	受講者数	修了者数(累計)
令和元年	普通救命講習Ⅰ	37回	857人	24,409人
	普及員講習	2回	44人	466人
	その他救急講習等	59回	1,903人	—
令和2年	普通救命講習Ⅰ	19回	506人	24,915人
	普及員講習	1回	18人	484人
	その他救急講習等	10回	370人	—
令和3年	普通救命講習Ⅰ	20回	332人	25,247人
	普及員講習	1回	19人	503人
	その他救急講習等	18回	301人	—
令和4年	普通救命講習Ⅰ	42回	708人	25,955人
	普及員講習	1回	20人	523人
	その他救急講習等	34回	1,244人	—
令和5年	普通救命講習Ⅰ	63回	1,007人	26,962人
	普及員講習	1回	24人	547人
	その他救急講習等	50回	1,348人	—

※平成27年から署外へ出向いて実施した普通救命講習を「普通救命講習Ⅰ」に含める

※3時間に満たない講習は「その他救急講習等」に含める



(23) 救助活動状況

事故種別 \ 区分	出動件数	出動人員	活動件数	活動人員	救助人員
火 災	22	88	22	88	5
交 通 事 故	15	83	11	63	11
水 難 事 故	3	24	3	16	3
風水害等自然災害					
機械による事故	3	12	2	8	5
建物等による事故					
ガス及び酸欠事故	1	4	1	4	1
爆 発 事 故					
そ の 他 の 事 故	138	568	110	421	89
計	182	779	149	600	114



5 予 防

防火対象物の現況

(1) 防火対象物

消防法では、建築物など火災予防行政の主たる対象となるものを「防火対象物」と定義し、そのうち消防法施行令別表第一に掲げる防火対象物については、その用途や規模等に応じて、火災予防のための人的体制の整備や消防用設備等の設置、防災物品の使用などを義務付けています。

防火対象物数

令和5年度末現在

用 途 区 分			大 東 市	四 條 畷 市	合 計
1項	イ	劇場・映画館 等	2	1	3
	ロ	公会堂・集会場	48	26	74
2項	イ	キャバレー・カフェー 等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	8	3	11
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			
	ニ	カラオケボックス 等	2		2
3項	イ	待合・料理店 等			
	ロ	飲食店	45	14	59
4項		百貨店・マーケット 等	100	44	144
5項	イ	旅館・ホテル 等	7	9	16
	ロ	寄宿舎・共同住宅 等	1,138	492	1,630
6項	イ	病院・診療所 等	34	11	45
	ロ	老人短期入所施設 等	43	27	70
	ハ	老人デイサービスセンター 等	65	29	94
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	4	7
7項		小・中・高・大学・各種学校 等	114	47	161
8項		図書館・博物館 等	3	1	4
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場 等			
	ロ	イ以外の公衆浴場	9	1	10
10項		車両の停車場 等	2	1	3
11項		神社・寺院・教会 等	29	11	40
12項	イ	工場・作業場	640	72	712
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13項	イ	自動車車庫・駐車場	34	11	45
	ロ	飛行機等の格納庫 等			
14項		倉庫	313	58	371
15項		前各項に該当しない事業所	259	97	356
16項	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	368	152	520
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	92	49	141
16の2項		地下街			
16の3項		準地下街			
17項		重要文化財 等			
18項		延長50メートル以上のアーケード	1		1
19項		管理者の指定する山林			
20項		総務省令で定める舟車			
合 計			3,359	1,160	4,519

(2) 消防同意

消防同意は、消防本部が火災予防の観点から、建築物の消防用設備等について設計の段階から関与し、建築物の安全性を高めることを目的として設けられている制度です。

消防本部は、この制度の運用に当たって、建築物の防火に関する法令の規定を踏まえ、防火上の安全性及び消防活動上の観点から、よりきめ細かい審査、指導を行うとともに、この事務が迅速に処理されるような体制の充実と連携の強化を図っています。

消防同意件数

令和5年度中

用 途 区 分			大 東 市	四 條 畷 市	合 計
1項	イ	劇場・映画館 等			
	ロ	公会堂・集会場			
2項	イ	キャバレー・カフェー 等			
	ロ	遊技場・ダンスホール			
	ハ	性風俗関連特殊営業店舗			
	ニ	カラオケボックス 等			
3項	イ	待合・料理店 等			
	ロ	飲食店	1	1	2
4項		百貨店・マーケット 等	1	1	2
5項	イ	旅館・ホテル 等			
	ロ	寄宿舎・共同住宅 等	42	9	51
6項	イ	病院・診療所 等	4		4
	ロ	老人短期入所施設 等	2	2	4
	ハ	老人デイサービスセンター 等	3	2	5
	ニ	幼稚園・特別支援学校			
7項		小・中・高・大学・各種学校 等	2		2
8項		図書館・博物館 等			
9項	イ	公衆浴場のうち蒸気浴場・熱気浴場 等			
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10項		車両の停車場 等			
11項		神社・寺院・教会 等	1		1
12項	イ	工場・作業場	6	1	7
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13項	イ	自動車車庫・駐車場		5	5
	ロ	飛行機等の格納庫 等			
14項		倉庫	20	1	21
15項		前各項に該当しない事業所	8		8
16項	イ	特定防火対象物の存する複合用途防火対象物	2		2
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1	1
16の2項		地下街			
16の3項		準地下街			
17項		重要文化財 等			
18項		延長50メートル以上のアーケード			
19項		管理者の指定する山林			
20項		総務省令で定める舟車			
その他			36	133	169
合 計			128	156	284

(3) 消防用設備等

消防法では、防火対象物の関係者は、当該防火対象物の用途、規模、構造及び収容人員に応じ、所要の消防用設備等を設置し、かつ、それを適正に維持しなければならないとされています。

消防用設備等に係る技術上の基準については、技術の進歩や社会的要請に応じ、逐次、規定の整備が行われています。

平成28年12月に発生した新潟県糸魚川市の大規模火災を踏まえ、火を使用する設備を設けた飲食店等には、原則として面積にかかわらず消火器具の設置を義務付けることとされました。(平成30年3月28日公布)

また、民泊を行う場合、利用者の安全確保のためには、建物の規模や階数等により消火器や自動火災報知設備等の設置が必要となるため、家主等が住宅宿泊事業の届出を行う際、申請書類に基づく図面審査や必要に応じて現地確認を行い、民泊の開始前に消防機関が防火上の安全を確認することとしています。

消防用設備等検査状況

令和5年度中

消 防 用 設 備 等		大 東 市	四 條 畷 市	合 計
消火設備	消火器	61	25	86
	屋内消火栓設備	13	1	14
	スプリンクラー設備	5	3	8
	水噴霧消火設備等	4	2	6
	屋外消火栓設備	1		1
	動力消防ポンプ設備			
警報設備	自動火災報知設備	78	22	100
	ガス漏れ火災警報設備			
	漏電火災警報器			
	火災通報装置	4	4	8
	非常警報設備等	10	5	15
避難設備	避難器具	3	4	7
	誘導灯・誘導標識	75	35	110
消防用水				
消防活動上 必要な施設	排煙設備			
	連結散水設備			
	連結送水管	1		1
	非常コンセント設備	1		1
	無線通信補助設備			
合 計		256	101	357

危険物規制事務の概要

消防法では、火災発生の危険性及び火災が発生した場合にその拡大の危険性が大きいものや火災の際に消火が困難であるなどの性状を有する物品を「危険物」として指定しています。危険物規制事務では、これら危険物の貯蔵・取扱い及び運搬において保安上の規制を行い、危険物による災害を防止し、公共の安全が確保されるように適切な指導を行っています。

(1) 危険物施設及び事業所数

令和5年度末現在

区 分		大 東 市	四 條 畷 市	区分別合計
製 造 所		3		3
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	79	3	82
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	7		7
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	4		4
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	23	19	42
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所			
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	5	8	13
	屋 外 貯 蔵 所			
取 扱 所	給 油 取 扱 所	23	18	41
	第 一 種 販 売 取 扱 所	3		3
	第 二 種 販 売 取 扱 所			
	一 般 取 扱 所	22	3	25
構 成 市 別 合 計		169	51	220
危 険 物 事 業 所		114	34	148

(2) 危険物施設の推移

令和5年度末現在

区 分 年度別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					事 業 所
			小 計	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
令和3年度	235	3	160	85	7	4	49		15		72	42	3		27	155
令和4年度	231	3	157	84	7	4	48		14		71	41	3		27	152
令和5年度	220	3	148	82	7	4	42		13		69	41	3		25	148

(3) 危険物施設関係事務処理状況

令和5年度中

区 分		大 東 市	四 條 畷 市	合 計
許 可	設 置			
	変 更	9		9
完 成 検 査	設 置			
	変 更	11	1	12
仮 使 用 承 認		9		9
点 検 期 間 延 長 承 認				
予 防 規 程	制 定			
	変 更			
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱 承 認		2	2	4
そ の 他 の 申 請				
軽 微 な 変 更 届		15	4	19
危 険 作 業 届		12		12
譲 渡 引 渡 届		1		1
品 名、数 量 又 は 倍 数 変 更 届		7	1	8
廃 止 届		8	3	11
保 安 監 督 者 選 任 解 任 届		29	1	30
氏 名、名 称、住 所 変 更 届		35	4	39
危 険 物 取 扱 作 業 従 事 者 届		4	6	10
製 造 所 等 使 用 休 止（再 開）届				
そ の 他 の 届 出				
構 成 市 別 合 計		142	22	164

完 成 検 査 前 検 査	水 張 検 査	7
	水 圧 検 査	2
水 張 ・ 水 圧 検 査（条 例）		



地下貯蔵タンク

保安3法規制事務の概要

経済産業省所管の「火薬類取締法」、「高圧ガス保安法」及び「液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律(以下「液化石油ガス法」という。)」に係る事務について、大阪府から当組合の構成市へ権限が移譲されました。組合規約の定めにより、平成26年4月1日から当組合で事務を行っています。

火薬類取締法の規制

火薬類の製造、販売、貯蔵、運搬、消費その他の取扱いを規制することにより、火薬類による災害を防止し、公共の安全を確保することを目的としています。

(1) 火薬類取締法関係事務処理状況

令和5年度中

火 薬 類 関 係 事 務 処 理 件 数	33
-----------------------	----

高圧ガス保安法の規制

高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱い及び消費並びに容器の製造及び取扱いを規制することにより、高圧ガスによる災害を防止し、公共の安全を確保することを目的としています。

(2) 高圧ガス保安法関係事業所数

令和5年度末現在

区 分	大 東 市	四 條 畷 市	区分別合計
第一種製造者(冷凍則以外)	7		7
第二種製造者(冷凍則以外)	21	7	28
第一種製造者(冷凍則)			
第二種製造者(冷凍則)	10	3	13
第一種貯蔵所			
第二種貯蔵所	8	2	10
特定高圧ガス消費者	1	1	2
販 売 業 者	38	17	55
容 器 検 査 所	2		2
構 成 市 別 合 計	87	30	117



高圧ガス施設

(3) 高圧ガス保安法関係事務処理状況

令和5年度中

区 分			大 東 市	四 條 畷 市	合 計
申 請	第一種製造者	製 造 許 可	1		1
		製 造 施 設 等 変 更 許 可	3		3
		完 成 検 査	4		4
		保 安 検 査			
	第一種貯蔵所	貯 蔵 所 設 置 許 可			
		貯蔵所位置等変更許可			
		完 成 検 査			
	容 器 検 査 所	登 録			
		登 録 更 新			
	特 別 充 て ん 許 可 申 請				
高 圧 ガ ス の 種 類 又 は 圧 力 の 変 更 申 請					
そ の 他 の 申 請					
届 出 等	第一種製造者	製 造 施 設 軽 微 変 更 届	3		3
		製 造 開 始 届	1		1
		危 害 予 防 規 程 届			
	第二種製造者	製 造 事 業 届	4	1	5
		製 造 施 設 等 変 更 届	1		1
	第一種貯蔵所	貯 蔵 所 軽 微 変 更 届			
	第二種貯蔵所	貯 蔵 所 設 置 届			
		貯蔵所位置等変更届			
	販 売 業 者	販 売 事 業 届	2		2
		販売に係る高圧ガスの種類変更届			
	特定高圧ガス 消 費 者	特 定 高 圧 ガ ス 消 費 届			
		特定高圧ガス消費施設等変更届			
	承 継 届			1	1
	受 検 届 ・ 検 査 記 録 届 ・ 検 査 結 果 報 告		6		6
	廃 止 届		6	2	8
	選 任 ・ 解 任 届		7	1	8
	事 故 届		2		2
	氏 名 等 の 変 更 届		7		7
そ の 他 の 届 出 等					
構 成 市 別 合 計			47	5	52

液化石油ガス法の規制

一般消費者等に対する液化石油ガスの販売、液化石油ガス器具等の製造及び販売等を規制することにより、液化石油ガスによる災害を防止するとともに液化石油ガスの取引を適正にすることによって公共の福祉を増進することを目的としています。

(4) 液化石油ガス法関係事業所数

令和5年度末現在

区 分	大 東 市	四 條 畷 市	区分別合計
液 化 石 油 ガ ス 販 売 事 業 者	10	4	14
保 安 機 関	9	3	12
充 て ん 設 備	2		2
特定液化石油ガス設備工事事業者	9	6	15
構 成 市 別 合 計	30	13	43

(5) 液化石油ガス法関係事務処理状況

令和5年度中

区 分			大 東 市	四 條 畷 市	合 計
申 請	販 売 事 業 者	登 録			
	保 安 機 関	認 定			
		認 定 更 新	6	3	9
		一般消費者等の数の増加の認可			
		保安業務規程(変更)認可			
	そ の 他 の 申 請		2	3	5
届 出 等	販 売 事 業 者	登 録 行 政 庁 の 変 更 届			
		変 更 届	2		2
	保 安 機 関	認 定 行 政 庁 の 変 更 届			
		変 更 届	1		1
		一般消費者等の数の減少届			
	充てん事業者	軽 微 な 変 更 届			
	貯蔵施設等	軽 微 な 変 更 届			
	特定液化石油 ガス設備工事	事 業 開 始 届			
		事 業 変 更 届	2		2
	承 継 届				
	受 検 届 ・ 検 査 結 果 報 告		4		4
	廃 止 届				
	選 任 ・ 解 任 届		5	1	6
	液 化 石 油 ガ ス 設 備 工 事 届		4		4
	事 故 届				
そ の 他 の 届 出 等		22	7	29	
構 成 市 別 合 計			48	14	62

6 消 防 団

《 大東市消防団 》

(1) あゆみ

年 月 日	概	要
31. 4. 1	住道町、四条町、南郷村が合併し大東市が誕生	
31. 8.	大東市消防団 結成	
	初代 消防団長 木本 辰蔵	
32. 4. 1	第2代 消防団長 藪下 治三郎	
33. 4. 1	第3代 消防団長 北村 武夫	
34. 4. 1	第4代 消防団長 野口 勝三	
36. 4. 1	第5代 消防団長 見浪 保治郎	
40. 4. 1	第6代 消防団長 東村 末太郎	
42. 4. 1	第7代 消防団長 川西 喜重郎	
44. 4. 1	第8代 消防団長 北村 一雄	
47. 8. 1	第9代 消防団長 野村 政一	
52. 12.	第1、8、23分団BS－I型ポンプ車更新(消防力整備計画)	
53. 11月～12月	第6、7、25分団BS－I型ポンプ車更新	
54. 9月～10月	第5、20、24分団BS－I型ポンプ車更新	
11. 11	自治体消防制度発足30周年記念式典、団員家族慰労会 (大東市立市民体育館)	
55. 8. 9	第4分団BS－I型ポンプ車更新	
8. 26	消防団本部車配置(日本船舶振興会寄贈)	
10. 31	第3、15分団BS－I型ポンプ車更新	
56. 7. 18	第22分団BS－I型ポンプ車更新	
8. 11	第11、27分団 //	
57. 9. 26	第26分団BS－I型ポンプ車更新	
10. 17	第17分団BS－I型ポンプ車更新	
10. 31	第13分団 //	
58. 9. 9	第12分団BS－I型ポンプ車更新	
9. 12	第19分団BS－I型ポンプ車更新	
10. 20	第16分団BS－I型ポンプ車更新	
10. 23	自治体消防制度発足35周年記念式典(住道中学校体育館)	
59. 3. 9	消防団長 野村 政一 氏 消防庁長官功労章受賞	
59. 12. 16	第14分団BS－I型ポンプ車更新	

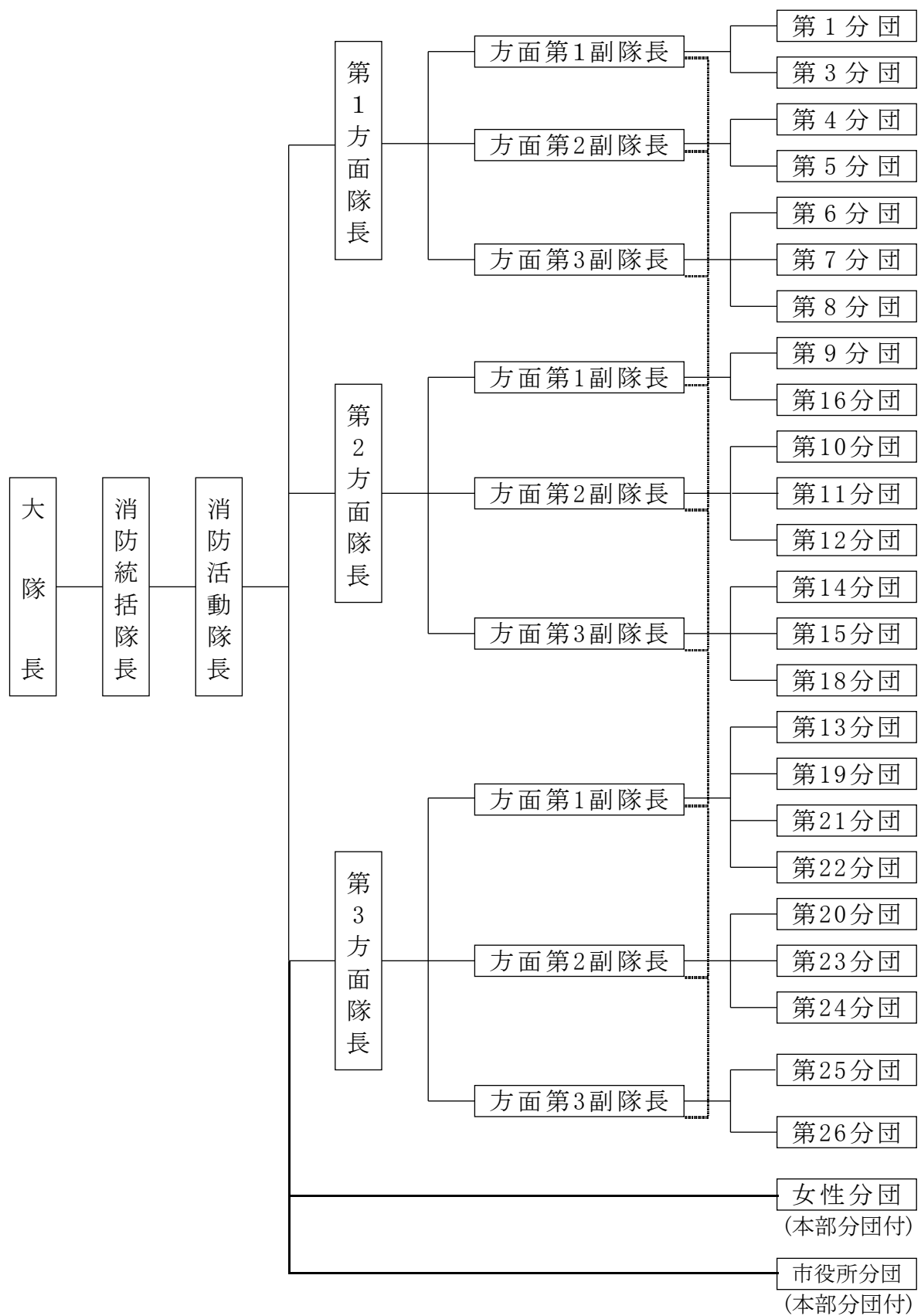
12 . 27	消防団用消防無線受令機車載型取付26基 (元消防団長 北村 武夫 氏 寄贈)
60 . 3 . 3	第18分団BS－ I 型ポンプ車更新
3 . 21	第10分団 //
4 . 29	消防団長 野村 政一 氏 藍綬褒章受章
8 . 20	第9分団BS－ I 型ポンプ車更新
9 . 1	第1回 大東市地域総合防災訓練(深野遊水池)
9 . 6	第21分団BS－ I 型ポンプ車更新
10.24～11. 3	消防団長 野村 政一 中国消防事情視察
61 . 4 . 1	第10代 消防団長 福川 豊一
62 . 10 . 18	第31回 大阪府消防大会 第14分団ポンプ操法大会出場
62 . 11 . 28	大阪府東部林野火災特別地域の指定
63 . 10 . 9	自治体消防制度発足40周年、大東市消防音楽隊発足20周年記念式典 (大東市立総合文化センター)
1 . 4 . 1	第11代 消防団長 東 積
11 . 3	元副団長 乾口 伊之助 氏 勲六等単光旭日章受章
2 . 9 . 2	第34回 大阪府消防大会 第4分団ポンプ操法大会出場
4 . 4.20～28	副団長 川西 章市 中国消防事情視察
5.11.17～18	自治体消防制度発足45周年記念式典(東京ドーム)
11 . 28	自治体消防制度発足45周年記念式典(中央区マイドームおおさか)
6 . 7 . 22	第4分団BS－ I 型ポンプ車更新
8 . 31	第24分団 //
9 . 12	第20分団 //
9 . 20	第5分団 //
11 . 3	元副団長 樋口 憲明 氏 勲六等単光旭日章受章
11 . 28	第6分団BS－ I 型ポンプ車更新
12 . 22	元団長 野村 政一 氏 従五位勲四等瑞宝章受章
7 . 1 . 17	阪神・淡路大震災発生
2.5～2.6	阪神・淡路大震災応援派遣(消防団)兵庫県消防学校(神戸市北区)
6 . 22	消防団本部車更新
9 . 10	第39回 大阪府消防大会 第26分団ポンプ操法大会出場
9 . 11	第7分団BS－ I 型ポンプ車更新
9 . 25	第3分団 //
9 . 27	第15分団 //
9 . 28	第25分団 //

10 . 18	第23分団	〃
11 . 3	第1回 消防フェア(大東市立総合文化センター周辺)	
11 . 8	第1、8分団BS－I型ポンプ車更新	
11.30～12.8	副団長 福川 貢	オセアニア消防事情視察
8 . 1 . 17	震災出動訓練	
9 . 2 . 17	第11、22、27分団BS－I型ポンプ車更新	
6.25～7.4	副団長 北田 敏雄	アメリカ消防事情視察
7 . 26	第12回 大阪の消防大賞(大阪国際交流センター)	
	第22分団班長 澤田 芳彦 氏	特別賞(人命救助)
9 . 16	第13、26分団BS－I型ポンプ車更新	
9 . 1	第41回 大阪府消防大会 第23分団ポンプ操法大会	第3位入賞
11 . 3	元分団長 西岡 利晴 氏	勲七等青色桐葉章受章
10 . 3 . 7	自治体消防制度発足50周年記念式典(日本武道館)	
10 . 14	第12、16、19分団BS－I型ポンプ車更新	
10 . 25	第13回大東市地域総合防災訓練(氷野小学校)	
11 . 4 . 29	団長 東 積 氏	藍綬褒章受章
12 . 3 . 23	第10、14、18分団BS－I型ポンプ車更新	
11 . 21	第9、21分団BS－I型ポンプ車更新	
13 . 4 . 1	第12代 消防団長 野口 昇	
14 . 9 . 1	第46回 大阪府消防大会 第18分団ポンプ操法大会	第4位入賞
15 . 11 . 8	大東市民防火の集い(自治体消防55周年記念行事)	
11 . 20	自治体消防制度55周年記念全国大会(東京ドーム)	
17 . 4 . 1	第13代 消防団長 川西 章市	
10.31～11.8	副団長 野村誠	アメリカ消防事情視察
19 . 4 . 1	消防分団車庫新築等補助制度施行	
4 . 29	元団長 野口 昇 氏	瑞宝双光章受章
7 . 8	第22回大阪の消防大賞に大東市消防団受賞	
7 . 25	団本部車更新	
9 . 17	第21分団車庫竣工	
20 . 2 . 9	自治体消防制度60周年記念公演「ミュージカル『地震・カミナリ・火事・オヤジ』」	(サーティホール)
21 . 4 . 1	第14代 消防団長 福川 貢	
4 . 29	元消防団長 東 積 氏	瑞宝双光章受章
5 . 12	元団長 川西 章市 氏	瑞宝単光章受章
10 . 4	第20分団小型動力ポンプ付積載車更新	

11 . 8	第 2 4 分団小型動力ポンプ付積載車更新
11 . 15	第 5 分団 //
11 . 22	第 4 分団 //
22 . 11 . 21	第 6 分団小型動力ポンプ付積載車更新
23 . 2 . 16	第3分団小型動力ポンプ付積載車更新
2 . 23	第15、25分団 //
23 . 3 . 11	東日本大震災発生
4 . 1	第 1 5 代 消防団長 良 恭平
9 . 5	第7分団小型動力ポンプ付積載車更新
12 . 15	第1、8、23分団小型動力ポンプ付積載車更新
24 . 11 . 3	副団長 北田 敏雄 氏 藍綬褒章受章
12 . 13	第 1 1、2 2、2 7 分団小型動力ポンプ付積載車更新
25 . 4 . 1	第 1 6 代 消防団長 北田 敏雄
8 . 22	第 1 3、2 6 分団小型動力ポンプ付積載車更新
11 . 3	副団長 戸野谷 益之 氏 藍綬褒章受章
11 . 25	自治体消防制度65周年記念全国大会(東京ドーム)
26 . 4 . 1	常備消防が四條畷市消防本部と合併し大東四條畷消防本部を発足 消防団事務を消防本部から市役所危機管理室に移管する。
9 . 30	第 1 2、1 6、1 9 分団小型動力ポンプ付積載車更新
11 . 3	元団長 良 恭平 氏 瑞宝双光章受章
28 . 3 . 6	消防団等地域活動表彰受賞
3 . 6	団員 尾崎 菜苗 氏 全国消防団意見発表会にて最優秀賞を受賞
3 . 17	第 1 0、1 4、1 8 分団小型動力ポンプ付積載車更新
9 . 4	第60回 大阪府消防大会 第 7 分団ポンプ操法大会出場
11 . 16	第 9、2 1 分団小型動力ポンプ付積載車更新
29 . 4 . 1	第 1 7 代 消防団長 戸野谷 益之
11 . 3	分団長 橋本 正幸 氏 藍綬褒章受章
30 . 4 . 29	元団長 北田 敏雄 氏 瑞宝双光章受章
6 . 1	大東市消防団本部付け女性消防団 1 3 名体制
9 . 2	第62回 大阪府消防大会 第 1 4 分団ポンプ操法大会出場
11 . 14	副団長 石橋 博寿 氏 藍綬褒章受章
12 . 3	消防大学校 消防団長科第 7 4 期入校 副団長 中尾 隆
31 . 3 . 16	日本消防協会長表彰旗受賞
3 . 4 . 1	団長 戸野谷 益之 氏 北河内地区支部支部長 拝命

3 . 4 . 1	市役所分団（機能別消防団発足）
3 . 4 . 29	元副団長 野村 誠 氏 瑞宝単光章受章
4 . 4 . 29	副団長 永田 勉 氏 藍綬褒章受章
5 . 9 . 3	第67回 大阪府消防大会 第25分団ポンプ操法大会第2位入賞

(2) 消防団の組織



(3) 消防団員の定数と配置

令和5年4月1日現在

階級別 分団別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定数	1	5	35	26	52	78	208	405
本部(女性)	1	5	10(1)	1(1)	2(2)	3(3)	5(5)	27(12)
機能別分団 (市役所分団)							10	10
〃 3 〃			1	1	2	3	9	16
〃 4 〃			1	1	2	3	8	15
〃 5 〃			1	1	2	3	8	15
〃 6 〃			1	1	2	3	7	14
〃 7 〃			1	1	2	3	6	13
〃 8 〃			1	1	2	3	9	16
〃 9 〃			1	1	2	3	9	16
〃 10 〃			1	1	2	3	9	16
〃 11 〃			1	1	2	3	8	15
〃 12 〃			1	1	2	3	5	12
〃 13 〃			1	1	2	3	8	15
〃 14 〃			1	1	2	3	8	15
〃 15 〃			1	1	2	3	3	10
〃 16 〃			1	1	2	3	8	15
〃 18 〃			1	1	2	3	9	16
〃 19 〃			1	1	2	3	8	15
〃 20 〃			1	1	2	3	9	16
〃 21 〃			1	1	2	3	8	15
〃 22 〃			1	1	2	3	8	15
〃 23 〃			1	1	2	3	8	15
〃 24 〃			1	1	2	3	8	15
〃 25 〃			1	1	2	3	7	14
〃 26 〃			1	1	2	3	6	13
合 計	1	5	33 (1)	24 (1)	48 (2)	72 (3)	179 (5)	362 (12)

()は、うち女性

(4) 消防団員の年齢別及び階級

令和5年4月1日現在

階級別 分団別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
18歳							2	2
19歳							4	4
20歳							2	2
21歳							1	1
22歳						1	4	5
23歳							3	3
24歳							12	12
25歳						1	7	8
26歳				1		5	2	8
27歳						3	4	7
28歳						1	5	6
29歳					3	5	7	15
30歳				1		3	8	12
31歳			2		6	7	8	23
32歳			1		3	2	4	10
33歳			1	2	1	2	8	14
34歳					3	5	4	12
35歳			2	4	1	7	8	22
36歳			1			1	6	8
37歳			1	2	3	8	2	16
38歳			2	2	1		3	8
39歳			1			2	3	6
40歳			1		4	3	7	15
41歳			1		2		3	6
42歳			3	1	5		5	14
43歳				3	2	1	4	10
44歳			1	1	4	2	9	17
45歳			2	2	1	2	4	11
46歳			4	2	2	2	4	14
47歳			1		1	1	6	9
48歳			1		2	3	8	14
49歳			1	1	1		2	5
50歳			3			4	4	11
51歳			1		2			3
52歳		1					3	4
53歳				1		1	2	4
54歳			1				2	3
55歳							6	6
56歳		1	1				1	3
57歳								
58歳							1	1
59歳				1	1		1	3
60歳		1						1
61歳以上	1	2	1					4
合 計	1	5	33 (1)	24 (1)	48 (2)	72 (3)	179 (5)	362 (12)

()は、うち女性

(5) 在職年数別消防団員数

令和5年4月1日現在

分団別 \ 在職年数別	団本部	本部分団	第1方面隊 6ヶ分団	第2方面隊 8ヶ分団	第3方面隊 9ヶ分団	合 計
5年未満		12	21	18	30	81
5年以上 10年未満		10	16	27	34	87
10年以上 15年未満			21	22	28	71
15年以上 20年未満		1	20	23	21	65
20年以上 25年未満	1	6	2	11	10	30
25年以上 30年未満	1		2	5	7	15
30年以上	4	2	2	4	1	13
合 計	6	31	84	110	131	362

(6) 消防団車両の配置

令和5年4月1日現在

所属	分団名	車名	型式	年式	総排気量 (cc)	車両種別	備考
第一方面隊	市役所分団	トヨタ	3BF-TRY230改	令和5年	1,990	消防ポンプ自動車	
	第3分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第4分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第5分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第6分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成22年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第7分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第8分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第9分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
第二方面隊	第10分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第11分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成24年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第12分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成26年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第14分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第15分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第16分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成26年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第18分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第13分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成25年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
第三方面隊	第19分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成26年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第20分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第21分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成28年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第22分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成24年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第23分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第24分団	トヨタ	ADF-KDY281	平成21年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第25分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成23年	2,982	可搬ポンプ付積載車	
	第26分団	トヨタ	LDF-KDY281	平成25年	2,982	可搬ポンプ付積載車	

四條畷市消防団

(1) あゆみ

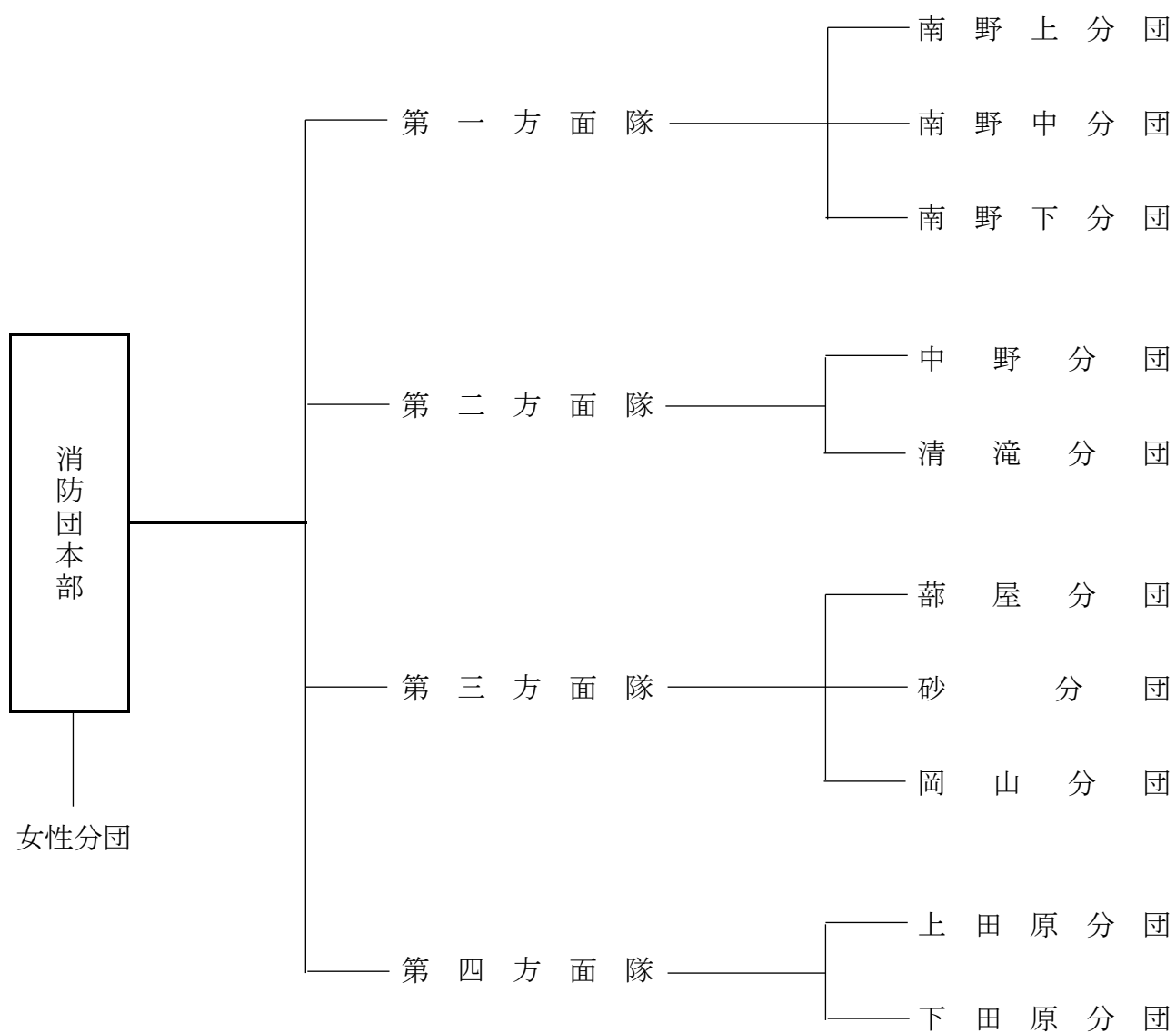
明治22年	甲可村消防組結成
昭和 7年	甲可村を四條畷村に改称
昭和14年	四條畷村警防団結成
昭和22年	町制施行により四條畷町となる 自治体消防発足 四條畷町消防団発足
昭和24年	自治省消防庁から消防団が竿頭綬を受章
昭和27年	(財)日本消防協会から消防団が表彰旗を受章 (財)大阪府消防協会から消防団が竿頭綬を受章
昭和31年	大阪府知事から消防団が竿頭綬を受章
昭和36年	四條畷町と田原村が合併し、四條畷町と呼称
昭和39年	消防ポンプ自動車(BS-I型)を南野中分団に配置
昭和40年	大阪府知事から消防団が表彰旗を受章 小型動力ポンプ付積載車を砂分団に配置
昭和41年	消防ポンプ自動車(BS-I型)を町役場消防団本部に配置
昭和42年	救急自動車を町役場に配置、職員で救急業務開始 消防専用中短波無線電話(基地局1、移動局2)を消防団本部に設置開局 消防ポンプ自動車(BS-I型)を薮屋分団に配置
昭和43年	消防ポンプ自動車(BS-I型)を南野上分団、南野下分団にそれぞれ配置
昭和44年	四條畷町消防団常備部消防庁舎竣工落成 四條畷町消防団常備部発足
昭和45年	市制施行により、四條畷市となる 水槽付消防ポンプ自動車を消防団常備部に配置 消防ポンプ自動車(BS-I型)を岡山分団、清滝分団にそれぞれ配置 小型動力ポンプ付積載車を南野下分団に配置
昭和46年	四條畷市消防本部(署)発足 消防ポンプ自動車(BS-I型)を中野分団に配置 第15回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で第7位入賞
昭和47年	消防庁から優良消防機関として表彰旗を受章
昭和48年	第17回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で第4位入賞
昭和49年	第18回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で第6位入賞
昭和50年	トランシーバを消防団全分団に配置
昭和51年	第20回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で優勝
昭和53年	(財)大阪府消防協会北河内地区支部消防操法訓練大会に参加し、自動車ポンプ操法の部で優勝
昭和53年	第22回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で優勝 第6回全国消防操法大会に出場し、優良入賞を受賞

	小型動力ポンプ付積載車を砂分団に配置
	小型動力ポンプを逢阪分団に配置
	(財)日本消防協会から消防団が竿頭綬を受章
昭和54年	第23回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で準優勝
	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を南野中分団に配置
昭和55年	消防百年記念消防団全国大会に参加
昭和56年	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を、上田原分団、下田原分団に配置
昭和56年	四條畷ライオンズクラブから携帯無線機1基の寄贈を受け、携帯無線機4基を消防団に配置
昭和57年	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を蔀屋分団に配置
	(財)大阪府消防協会から消防団が竿頭綬を受章
昭和58年	背負式ポンプ(手動式)を全分団に3基配置
	携帯無線機2基を消防団に配置
	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を南野下分団に配置
	水防作業照明器具を、全分団に2基配置
	(財)大阪府消防協会から消防団が表彰旗を受章
昭和59年	携帯無線機2基を消防団に配置
昭和60年	携帯無線機4基を消防団に配置、全分団への配置完了
昭和61年	第30回大阪府消防操法訓練大会に参加し、ポンプ車操法の部で入賞
昭和63年	小型動力ポンプ付積載車を南野上分団に配置
平成 元年	(財)日本消防協会から消防団が優良消防団として、特別表彰「まとい」を受章
	(財)日本消防協会から、携帯用無線機10基、ハンドマイク2基の寄贈を受け、消防団に配置
平成 2年	小型動力ポンプ付積載車を清滝分団に配置
	第34回大阪府消防操法訓練大会に参加し、小型ポンプ操法の部で入賞
平成 3年	災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(10枚)製作設置
	小型動力ポンプ付積載車を逢阪分団に配置
	(財)日本消防協会から消防団が表彰旗を受章
平成 4年	消防ポンプ自動車(BS-Ⅰ型)を岡山分団に配置
平成 5年	災害対策事業として、市指定避難場所明示看板(7枚)製作設置
	小型動力ポンプ付積載車を中野分団に配置
	(財)日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、南野下分団に配置
	第37回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で入賞
	第8回大阪の消防大賞消防団の部で南野下分団が受賞
平成 6年	小型動力ポンプ付積載車を砂分団に配置
平成 7年	小型動力ポンプ付積載車を南野中分団に配置
	枚方信用金庫から携帯無線機2基の寄贈を受け、消防団に配置
平成 8年	小型動力ポンプ付積載車を蔀屋分団に配置
平成 9年	小型動力ポンプ付積載車を上田原、下田原の両分団に配置
	携帯無線機(5W)2基を消防団に配置
	第41回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で入賞
平成10年	消防団員に防寒衣を貸与

平成11年	携帯無線機(5W)3基を更新し、消防団に配置
平成12年	第44回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で入賞
平成13年	第16回大阪の消防大賞を清滝分団が受賞 消防団員にアポロキャブを貸与
平成15年	消防ポンプ自動車(BS-I型)を更新し、(CD-I型)を南野下分団に配置 小型動力ポンプ(B-2)を消防団に配置 小型移動照明装置を南野中、中野、蔀屋、上田原、下田原各分団に配置
平成16年	小型動力ポンプ付積載車を南野上分団に更新配置 第16回大阪の消防大賞消防団の部で清滝分団が受賞 小型移動照明装置を南野下、砂、岡山各分団に配置 第48回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で入賞 ふるさと消防団活性化助成を受けOA機器及びAV機器等を整備
平成17年	小型動力ポンプ付積載車を中野、清滝両分団に更新配置 消防ポンプ自動車(CD-I型)を岡山分団に更新配置 消防団メール配信システムを導入 小型移動照明装置を逢阪分団に配置、全分団に配置完了
平成18年	消防団員に新基準夏制服、活動服を貸与
平成19年	女性消防団員初採用(6名) 第51回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ車操法の部で入賞 ふるさと消防団活性化助成を受け、女性消防団員制服、プロジェクター及びAED トレーナー、心肺蘇生訓練人形を整備
平成20年	小型動力ポンプ付積載車を南野下分団に更新配置
平成21年	消防団員安全装備品整備等助成を受け、特定小電力無線機32台、防火衣一式、 応急手当用品(感染防止用品)を整備 四條畷市防火協会から防火衣一式の助成を受け、消防団に配備 小型動力ポンプ付積載車を砂分団に更新配置
平成22年	市制施行40周年記念事業として消防フェアを開催 ドイツ国メアブッシュ市と国際友好都市を提携 (財)日本消防協会から消防団が竿頭授受章 (社)日本損害保険協会から小型動力ポンプ付軽四積載車の寄贈を受け、逢阪分団 に更新配置 小型動力ポンプ付積載車を南野中分団に更新配置
平成23年	第55回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で準優勝 コミュニティ助成事業の助成を受けOA機器及心肺蘇生訓練人形・AEDトレーナーを整備
平成24年	小型動力ポンプ付積載車を蔀屋分団に更新配置 ディスクトレーナーを全分団に配備
平成25年	小型動力ポンプ付積載車を上田原及び下田原分団に更新配置 豪雨浸水時排水用水中ポンプ2機を消防団に配置 全積載車に中継用媒介を配置 消防団120年・自治体消防65周年記念大会(東京ドーム)

平成26年	常備消防が大東市消防本部と合併し大東四條畷消防本部を発足 消防団事務を消防本部から市役所都市整備部危機管理課に移管する。 第29回大阪の消防大賞消防団の部で受賞(185名)する。 第58回大阪府消防操法訓練大会に出場し、ポンプ操法の部で敢闘賞 (公財)大阪府消防協会北河内地区支部資機材整備金により、各車両に拡声器を配置 (公財)日本消防協会から防災活動車の寄贈を受け、消防団本部車両として配置
平成27年	消防団員に安全靴(長編上)及び安全帽を貸与
平成28年	組織の見直しを図り、統廃合により10分団体制となる。 消防団員に活動用雨衣及び耐切創性手袋を貸与 救命胴衣49着を消防団に配置
平成29年	デジタルMCA携帯型無線機29台を消防団に配置
平成30年	第62回大阪府消防操法訓練大会に出場し、小型ポンプ操法の部で準優勝
平成31年	消防団に高機能ホース巻き取り機を3台配備
令和2年	消防団本部に女性分団を設置する。 消防団員に新基準活動服を貸与
令和3年	(公財)大阪府消防協会から消防団が表彰旗を受章
令和4年	コミュニティ助成事業の助成を受け安全靴(長編上)127足を整備
令和5年	消防ポンプ自動車(CD-I型)を南野下分団に更新配置

(2) 消防団の組織



(3) 消防団員の定数と配置

令和5年4月1日現在

階級別 分団別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
定数	185							
本部	1	4						5
女性			1	1	1	1	5	9
南野上			1	1	1	3	4	10
南野中			1	1	1	2	7	12
南野下			1	2	1	4	11	19
中野			1	1	1	3	10	16
清滝			1	1	1	3	9	15
菰屋			1	1	1	3	12	18
砂			1	1	1	3	9	15
岡山			1	2	1	4	14	22
上田原			1	1	1	3	10	16
下田原			1	1	1	3	7	13
合 計	1	4	11	13	11	32	98	170

(4) 消防団員の年齢別及び階級

令和5年4月1日現在

分団別	階級別	団 長	副団長	分団長	副分団長	部 長	班 長	団 員	合 計
	18歳								
	19歳								
	20歳								
	21歳								
	22歳								
	23歳								
	24歳								
	25歳								
	26歳								
	27歳							1	1
	28歳							1	1
	29歳							1	1
	30歳							1	1
	31歳							3	3
	32歳						1	1	2
	33歳						1		1
	34歳						2	2	4
	35歳						1	2	3
	36歳							3	3
	37歳							3	3
	38歳						1	6	7
	39歳					1		4	5
	40歳						1	1	2
	41歳						4	4	8
	42歳						1	4	5
	43歳					1		6	7
	44歳						4		4
	45歳			1		1	1	1	4
	46歳				2		2	4	8
	47歳					1			1
	48歳				1		2	3	6
	49歳			1	2	1	2	6	12
	50歳			1		1	3	2	7
	51歳				1			3	4
	52歳			2	1	2	1	4	10
	53歳		1	1	1	1	2	8	14
	54歳			1		1		2	4
	55歳			2	2		2	1	7
	56歳				1				1
	57歳					1		6	7
	58歳				1			6	7
	59歳			1				1	2
	60歳		1	1	1				3
	61歳以上	1	2				1	8	12
	合 計	1	4	11	13	11	32	98	170

(5) 在職年数別消防団員数

令和5年4月1日現在

分団別 \ 在職年数別	団本部	第一方面隊	第二方面隊	第三方面隊	第四方面隊	合計
5年未満		3	6	10	4	23
5年以上 10年未満	4	10	8	8	2	32
10年以上 15年未満	2	9	4	11	5	31
15年以上 20年未満	3	5	3	11	5	27
20年以上 25年未満	1	3	6	7	8	25
25年以上 30年未満	2	5	2	4	4	17
30年以上	2	6	2	4	1	15
計	14	41	31	55	29	170

(6) 消防団車両の配置

令和5年4月1日現在

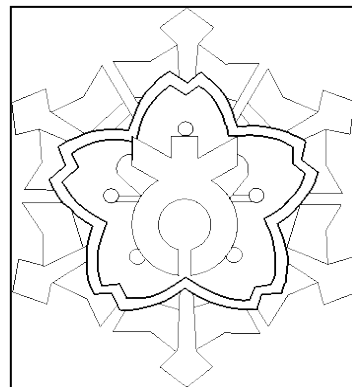
所属	分団名	車名	型式	年式	総排気量 (cc)	車両種別	備考
団本部	団本部	スバル	EBD-TV2	平成22年	G650	可搬ポンプ積載車	予備車
第一方面隊	南野上	日産	TC-SH4F23改	平成16年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	南野中	日産	CBF-SQ1F24	平成22年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	南野下	三菱	KK-FE73EB	平成15年	D5,240	ポンプ車	
		日産	CBF-SQ2F24	平成20年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
第二方面隊	中野	日産	TC-SH4F23	平成18年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	清滝	日産	TC-SH4F23	平成18年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
第三方面隊	薮屋	日産	CBF-SQ2F24	平成24年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	砂	日産	CBF-SQ2F24	平成21年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	岡山	日産	PD-XZU304E	平成18年	D4,000	ポンプ車	
第四方面隊	上田原	日産	CBF-SQ2F24	平成24年	G1,990	可搬ポンプ積載車	
	下田原	日産	CBF-SQ2F24	平成24年	G1,990	可搬ポンプ積載車	

7 防火推進団体

(1) 大東市消防協力会

消防精神、とりわけ奉仕の精神の旺盛な同志が集い、永年防災の担手として、市民の幸せを願い、研鑽に励み訓練を重ね市民の期待に応えてきた貴重な体験を、ここに再度いかして、消防行政に協力し、防災の面で社会奉仕をしようとして設立されたものです。

会員之章



ア) 会員数	1 2 8 名
正会員	消防団員の退職者 及び支部長の推薦する者
特別会員	本会の事業に密接な関係を有する者

イ) 会 費 年額 1 0 , 0 0 0 円

ウ) 事 業

- ・ 地域の防火訓練等の協力並びに参加
- ・ 地域の消防分団の育成並びに助成
- ・ 消防諸行事への協力並びに参加
- ・ 会員研修・講習会の実施
- ・ 会員相互の親睦
- ・ その他本会の目的を達成するために必要な事業



め組の纏

(2) 大東市防火防災協会

本協会は昭和40年10月、大東市初の防火推進団体として、147事業所の賛同のもとに発足しました。平成29年には「大東市防火防災協会」に改名し、防災にも力を入れています。令和5年4月1日現在、会員数は709事業所にのぼり、名実共に府下屈指の協会として、その実績が評価されています。

大東市防火防災協会記章



記章の趣意

この記章は、「火をみつめる(安全確認)」を表現したものであります。

外枠の円は、会員が共に手をたずさえ協調。

外枠の円の一方は、大東市民の安全、他は事業所の安全を表し、本会の目標である「無火災都市＝大東」と「事業所の繁栄」を願ったものであります。

ア) 歴代会長

初代会長	池田 次郎吉	S40. 10. 10	～	S42. 3. 31
第2代会長	杉岡 金蔵	S42. 4. 1	～	S47. 3. 31
第3代会長	松村 憲三	S47. 4. 1	～	S51. 3. 31
第4代会長	内田 照夫	S51. 4. 1	～	S60. 3. 31
第5代会長	吉井 章逸	S60. 4. 1	～	S63. 3. 31
第6代会長	安田 進一	S63. 4. 1	～	H5. 3. 31
第7代会長	北村 吉左衛門	H5. 4. 1	～	H13. 3. 31
第8代会長	杉岡 五郎	H13. 4. 1	～	H15. 3. 31
第9代会長	田中 利男	H15. 4. 1	～	H19. 3. 31
第10代会長	川本 安夫	H19. 4. 1	～	H23. 3. 31
第11代会長	東坂 巖	H23. 4. 1	～	現在

イ) 主な事業

- (ア) 防火ポスター、広報紙等の刊行配布
- (イ) 防火管理者、危険物取扱者研修の実施
- (ウ) 消防設備相談、消火器等のあっせん
- (エ) 火災予防運動の推進
- (オ) 職域自衛消防隊の育成・指導
- (カ) 女性防火クラブ等防火推進団体の育成・助成
- (キ) 消防職・団員の研修助成



(3) 大東市女性防火クラブ・幼年消防クラブ

「家庭防火は主婦の手で」を合言葉に、昭和43年に末広地区で初めて婦人防火クラブが結成されました。現在では、10クラブ197名のクラブ員が活動しています。

また、昭和55年には婦人防火クラブ連絡協議会が結成され、さらに平成16年には女性防火クラブに名称変更し、より一層充実した運営・活動がなされています。

幼年消防クラブは、幼少期から防火に対する意識を持ってもらうことを目的に、平成29年4月に新しく誕生し、現在市内の幼稚園、こども園、保育園（所）24園で結成されています。クラブ員たちは「防火の誓い」を宣誓し、消防署長から認定証を手渡されました。

ア) 女性防火クラブ結成の推移等

令和5年4月1日現在

結成年月	名 称	現在人員
昭和43年11月	婦人防火クラブ末広支部	クラブ員 25名
昭和53年12月	〃 灰塚支部	クラブ員 17名
昭和55年 4月	〃 山の手支部	クラブ員 14名
昭和55年 4月	大東市婦人防火クラブ連絡協議会	
昭和57年 9月	婦人防火クラブ大野支部	クラブ員 18名
昭和58年 3月	〃 南灰塚支部	クラブ員 21名
昭和59年12月	〃 龍間支部	クラブ員 20名
平成 7年 6月	〃 北灰塚支部	クラブ員 24名
平成16年 4月	女性防火クラブ連絡協議会に名称変更 〇〇女性防火クラブに支部名称変更	
平成18年 4月	三箇女性防火クラブ	クラブ員 22名
平成22年11月	新田女性防火クラブ	クラブ員 26名
令和 5年 4月	太子田女性防火クラブ	クラブ員 10名

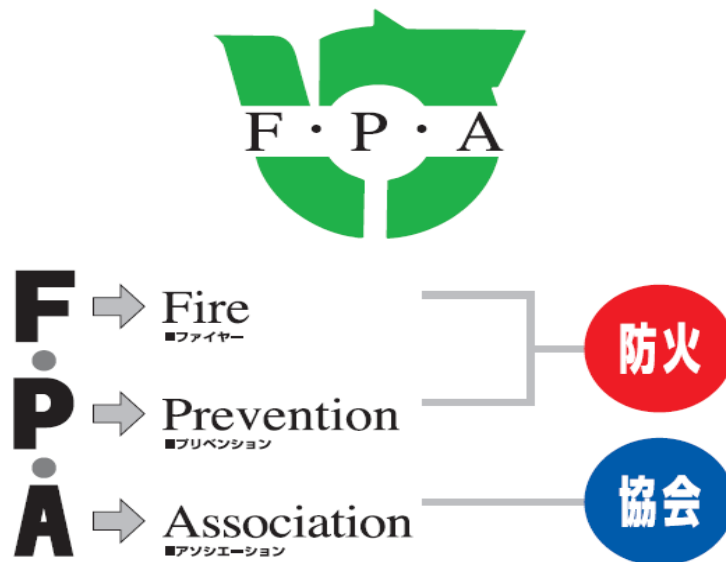
イ) 幼年消防クラブ結成の推移等

令和5年4月1日現在

結成年月	名 称	現在人員
平成29年 4月	市立北条こども園幼年消防クラブ	クラブ員 25名
	市立諸福幼稚園 〃	クラブ員 16名
	愛真幼稚園 〃	クラブ員 78名
	四條畷学園大学附属幼稚園 〃	クラブ員 98名
	住道こども園 〃	クラブ員 50名
	大東中央幼稚園 〃	クラブ員 98名
	朋来幼稚園 〃	クラブ員 83名
	大東わかば保育園 〃	クラブ員 26名
	若竹こども園 〃	クラブ員 23名
平成30年 4月	あすなろこども園 〃	クラブ員 26名
	聖心保育園 〃	クラブ員 33名
	第2 聖心保育園 〃	クラブ員 24名

平成31年 4月	津の辺保育園	〃	クラブ員	16名
	四条保育園	〃	クラブ員	20名
	みのりこども園	〃	クラブ員	12名
	市立野崎保育所	〃	クラブ員	18名
	上三箇保育園	〃	クラブ員	19名
	ひらりす保育園	〃	クラブ員	20名
	市立南郷保育所	〃	クラブ員	33名
	江ノ口保育園	〃	クラブ員	14名
	大東つくし保育園	〃	クラブ員	16名
	氷野保育園	〃	クラブ員	17名
	新田保育園	〃	クラブ員	24名
	ひとつぶ保育園	〃	クラブ員	24名

(4) 四條畷市防火協会



昭和52年7月設立総会を開催し、『火災のない明るい四條畷市』を目標とすることを確認し、会員数445名のもと『四條畷市防火協会』が正式に発足しました。

◎会員数 292名（令和5年4月1日現在）

◎主な事業

- 会報の発行
- 火災予防運動の実施
- 住宅用火災警報器の普及啓発
- 防火の講演、講習、訓練の実施
- 視察研修会の実施
- 各種会議の開催
- 消火器の補てん事業の実施

(5) 四條畷市女性防火クラブ・幼年消防クラブ

「火災のない町は私たちの手で」を合言葉に、昭和59年に中野地区で初めて婦人防火クラブが結成されました。現在、2クラブ29名のクラブ員が活動しています。

また、平成8年には婦人防火クラブ連絡協議会が結成され、さらに平成19年には女性防火クラブに名称変更し、より一層充実した運営・活動がなされています。

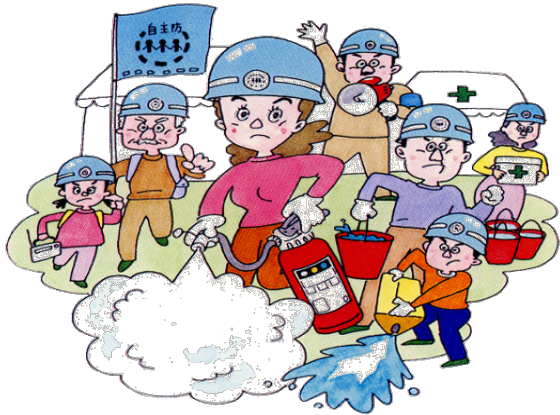
一方幼年消防クラブも幼稚園児を対象に幼年期からの防火意識の高揚を目的に平成2年に結成し、正しい火の取り扱いや火の怖さを学んで「防火の誓い」を行う等、子供の火遊びによる火災予防等に貢献し、消防諸行事に協力参加しています。

ア) 女性防火クラブ結成の推移等 令和5年4月1日現在

名	称	結成年月	クラブ員数
中野女性防火クラブ	(平成19年4月中野婦人防火クラブから名称変更)	昭和59年4月	16名
清滝女性防火クラブ	(平成19年4月清滝婦人防火クラブから名称変更) (令和5年4月1日から活動休止)	平成7年4月	活動休止中
四條畷市女性防火クラブ連絡協議会	(平成19年4月四條畷市婦人防火クラブ連絡協議会から名称変更)	平成8年4月	29名
岡山女性防火クラブ		平成24年4月	13名

イ) 幼年消防クラブ結成の推移等 令和5年4月1日現在

名	称	結成年月	クラブ員数
畷幼稚園幼年消防クラブ		平成2年4月	90名
星子幼稚園幼年消防クラブ		平成2年4月	休園中
畷すずらん保育園幼年消防クラブ		平成30年4月	26名
忍ヶ丘愛育園幼年消防クラブ		平成30年4月	25名
田原台ひまわりこども園幼年消防クラブ		平成30年4月	29名
市立岡部保育所幼年消防クラブ		平成30年4月	21名
なわてすみれ園幼年消防クラブ		平成30年4月	37名
畷アサヒヶ丘保育園幼年消防クラブ		平成30年4月	20名
忍ヶ丘いるかこども園幼年消防クラブ		平成30年4月	20名
畷たんぽぽ保育園幼年消防クラブ		平成30年4月	14名
市立忍ヶ丘あおぞらこども園幼年消防クラブ		平成30年4月	49名



令和5年版 消防年報
令和6年10月発行

発行：大東四條畷消防本部
大東市新町13番35号
TEL(072)872-2345 FAX(072)870-0119